

会長のページ 九州厚生局および宮崎県による指導の通知を受けて…	河野 雅行	3
日州医談 警察からの照会への対応について ……	荒木 早苗	4
私が推薦する本「五足の靴」「高齢者てんかん」のすべて」		
「台所太平記」「海のアトリエ」 ……	前田 嘉子	6
エコー・リレー (567) ……	西田 隆昭, 江藤 敏治	8
メディアの目 宮崎ハネムーンベイビー ……	神屋由紀子	9
身近なお困りごと相談室 ……		10
国公立病院だより 県立日南病院 ……	原 誠一郎	18
宮崎大学医学部だより (内科学講座-血液・糖尿病・内分泌内科学分野-)	日高 智徳	20
部会だより (産業医部会) ……	吉見 雅博	21
診療メモ 当科におけるロボット支援手術の導入 ……	別府樹一郎	56
宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭 第18回清花祭 ……	村社 優介	58

あなたできますか? (令和3年度医師国家試験問題より) ……		7
宮崎県感染症発生動向 ……		12
各郡市医師会だより (南那珂医師会, 西諸医師会) ……		14
各種委員会 (医学会誌編集委員会) ……		23
第1回各郡市医師会長協議会 ……		24
九州医師会連合会第402回常任委員会 ……		26
日医インターネットニュースから ……		28
医師協同組合だより ……		30
医師国保組合だより ……		32
会員の異動・変更報告 ……		34
ベストセラー ……		35
理事会日誌 ……		36
県医の動き ……		40
ドクターバンク情報 ……		41
行事予定 ……		47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 ……		49
あとがき ……		64

お知らせ 「新春随想」原稿募集 ……		11
医療勤務環境改善支援センター ……		22
県医師会館大規模修繕工事について ……		23
医療事故調査制度相談窓口 ……		27
日州医事へのご意見・ご感想 ……		45
郡市医師会への送付文書 ……		60

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

大淀川の夕焼け

大淀川の堤防を散歩すると、とても清々しく気持ちがよくなります。ある日の夕方、愛犬と一緒に訪れました。夕陽のあかね色が美しく川面に反射して、気持ちを落ち着かせてくれました。

綾町 たま 玉 き 置 のぼる 昇

会長のページ

九州厚生局および宮崎県による指導の通知を受けて

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

保険診療を行う保険医は地方厚生局長の指導を受けなければなりません。指導大綱にも記載してあるようにいくつかの選定基準があり、該当すれば指導対象となります。ルールは理解していてもなぜ自分が選定されたのか釈然としないとの会員の声が頻繁に聞かれます。

私事で恐縮ですが、先日九州厚生局長より「指導を受けること。正当な理由が無く欠席すれば再指導」との通知が届きました。制度上では理解していたつもりでしたが、通知を受け取って少なからず動揺しました。大げさに言えば青天の霹靂の感でした。

古い話ですが、開業して間もなく個別指導を受けたことがあります。ずいぶん時間も経ており時効ではないかと思ひ皆様の参考になればと筆を取りました。指導大綱に記載された指導の根拠はいくつかありますが、私の場合はさまざまな観点から情報提供であろうと推定しました。採用したばかりの事務職員が頻繁に突然休む、勤務時間中でもサラリーローンからの電話があり、拳句の果てには窓口に押しかけて、それを取り次ぐ他の職員が怖がって業務に支障が出たので、所定の手続きを経て解雇しました。どうやらその職員が逆恨みして当院のあることないことを監督官庁に投書したようでした。当時も職員が少なく困っていましたので面接時に少し難点はありましたが、止むを得ず採用した結果でした。指導の結果、幸い大きな問題はありませんでした。このようなケースもあり、情報提供を根拠とした指導は理解できますが、提供された情報の真偽を確かめることも必要ではないでしょうか。更に、スタッフ不足でも職員採用は慎重にするべきとの教訓を得ました。

今回、指導の通知を受けた際に前回のことを思い出しました。充分注意しているつもりでも自分では気づかないことで患者さんからの情報提供があったのかも知れないと恐れ、自分では気付かないミスがあったのかもしれないなどと先走って心配をしました。

幸い今回の指導は集団指導であり心配は杞憂に終わりましたが、診療を行ううえで最も大切なことは日頃から療養担当規則をはじめとする関係法令やルールに従った診療を行い、しっかりカルテに記載することです。このたび、本会では九州厚生局宮崎事務所、審査委員の先生方、各専門分科医会のご協力のもと、「保険診療の手引き（第6版）」を発刊し、会員の先生方のお手元へ配付いたしました。日々の診療や保険請求の際にご活用いただければ幸いです。（令和4年10月17日）

日州医談



警察からの照会への対応について

宮崎県医師会 常任理事 あらい きき なえ
荒 木 早 苗

会員より警察からの照会についての相談がありました。警察から電話で「そちらの医院に通院していた患者が救急搬送された。患者の病名、処方、通院歴について教えてほしい」と問い合わせがあり、会員は相手が警察とはいえ、患者の情報を伝えてよいものかと迷ったとのこと。他にも同様の体験をされた医師の話を知りましたので、会員の先生方に警察からの照会の経験について宮崎県医師会のメーリングリストでアンケートを行ったところ、74名の会員より回答があり、多くの医師が警察からの複数回の照会の経験があることがわかりました。

警察からの照会に対する回答には、個人情報保護法の問題が深く関わっているため、どのように対応すべきか、医師協同組合のセミナーや本誌の「身近なお困りごと相談室」のコーナーにご協力いただいているきさらぎ総合法律事務所の高山桂弁護士に伺いました。

Q1. 個人情報保護法と診療情報の提供の可否について教えてください。

まず、個人情報保護法は、①生存する人物について②個人を特定できる個人情報を③利用目的の範囲を超えて④本人の同意なく⑤法令上の根拠なく⑤第三者に開示する行為を禁止しています。

特に、医療機関が取り扱う患者に関する診療情報は、要配慮個人情報に該当する極めて重要な情報であるところ、2022年4月より改正された個人情報保護法において個人情報の漏洩の罰則が著しく強化されています。

そして、警察署や検察庁（以下、総称して「捜査機関」と言います）から照会される内容は、まさに特定の患者に関する診療情報の提供であることから、その可否については慎重に判断しなければなりません。「捜査機関からの問い合わせだから」と漫然と診療情報を開示した

場合、医療機関に法的責任が問われる危険性が高いことには留意すべきです。

Q2. 口頭での照会に答えてもよいのでしょうか？

この点、捜査機関は刑事訴訟法¹に基づき捜査関係事項の照会を求めることができます。しかし、警察官が質問する行為全てが、当然に同法に基づく照会となるわけではありません。一般的に、刑事訴訟法に基づく捜査関係事項照会は、当該捜査を管轄する所属長（警察署長など）の名義で行われる公的な手続きです。そのため、個々の警察官が口頭で情報開示を求めてきた場合、それが刑事訴訟法第197条2項に基づく捜査関係事項の照会であるか否かの判断ができません。また、警察庁も事業者には、捜査関係事項の照会を求める場合には、統一した書式に所属長が押印した文書によって行うよう、各警察署に指導しています。

そのため、文書のない、警察官による電話や口頭での照会には慎重であるべきです。必ず照会を求める捜査機関に対し、適切な「捜査関係事項照会書」の交付を求めるべきです。

¹刑事訴訟法第197条第2項「警察官は公私の団体に照会して必要な事項の報告を求めることができる。」

Q3. 「捜査関係事項照会書」による照会を受けた場合、その回答は文書ではなく口頭でもよいのでしょうか？

警察庁が各警察署宛に発出している「捜査関係事項照会書の適正な運用について」という文書があります。本文書中にも、「本照会は、あくまで捜査のための必要事項の「報告」の要求であることから、直接帳簿、書類など（謄本を含む）の提出を求めることは本条を根拠としてはできない」と記述されており、報告は口頭での回答でも問題ありません。

Q4. 照会に対して、患者本人の同意、あるいは患者死亡の場合は家族の同意なく回答しても問題ないでしょうか？

法令上の根拠に基づく開示である場合、例えば配慮個人情報であっても、患者本人やその家族の同意は不要です。ただし、本人の同意なく提供するからこそ、その法的根拠を明確にするべく捜査機関には文書での照会を求めるべきです。

また、個人情報保護法は、「生存している」人物の情報管理を義務付けていることから、すでに死亡している患者の情報は規制対象ではないため、情報開示は可能です。もっとも、死者の情報であっても生存する個人と関連がある場合には、それは遺族の個人情報に該当するため、慎重に判断しなければならないのは同様でしょう。

Q5. 警察に照会理由を質問しても「個人情報」との理由で教えてもらえないことがあるようです。しかし、教えてもらわなければ、その照会が本当に捜査に必要な「正当な理由」であるのか確認できないまま情報提供をすることになります。医師に訊く権利はないのでしょうか？

捜査機関からの捜査関係事項の照会については文書が必須ですが、その一方で「捜査関係事項照会書」で求められたからといって、漫然と過大な診療情報を提供した場合にも、医療機関に法的責任が生じる可能性があります。例えば、捜査機関側が明らかに被疑事実と関係しない情報の開示を求めてきた場合や、膨大な情報開示を求めてきた場合などが典型です。

そのため、医療機関としては捜査関係事項照会書を受領した後、捜査機関が求める診療情報の提供が本当に必要なかを検討すべきです。そして、疑義があれば、なぜ当該診療情報が必要であるのかなど、その照会の必要性について捜査機関に問い合わせを行うべきでしょう。

なお、捜査機関が医療機関からの質問に対する回答を拒否する場合には、必要最小限度の開示に止めるか、あるいは回答の拒絶も検討すべきでしょう。

Q6. 照会に納得がいけない場合などは断ってもよいのでしょうか？

捜査機関からの書面に基づく照会に対して、その内容を回答すべき法律上の義務が存在する

か否かは見解が別れています。警察庁としては捜査関係事項照会について統一した書式を用いて厳格に運用する代わりに、事業者（医療機関）には捜査関係事項照会に関して回答すべき義務があるという見解です。

私見ですが、捜査機関が適切な書式に基づき適正な内容の照会を行っている限りにおいては照会に協力すべきである一方、疑義がある照会には拒絶をして差し支えないと考えております。

なお、照会を拒絶したとしても罰則はありません。

Q7. 最後に、弁護士の立場から医師へ注意すべき点、アドバイスなどありましたら、教えてください。

2022年4月に改正された個人情報保護法は、個人情報保護を著しく強化しており、不正な個人情報漏洩に対しては厳しい罰則が定められています。そして、医療機関が取り扱う診療情報は、個人情報の中でも特に慎重に管理すべき要配慮個人情報です。もし、捜査機関に不用意に診療情報を提供したために患者やその家族からクレームが入ったとしても、捜査機関は開示した医療機関を守ってはくれません。「当該診療情報を開示する」という判断をした医療機関がその責任を問われることとなります。

そのため、警察官からの口頭での照会など、漫然とした個人情報の開示請求には毅然と拒絶し、必ずその照会が公的な手続きを経た適切な照会であることを確認したうえでその内容を吟味することが重要です。

おわりに

以上、警察からの照会に対する対応について、弁護士からの見解を記載しました。

警察との関わりにおいては、上述の照会の他、警察からの要請による検死があり、警察医を中心に活動を行っています。

また、昨今、医療現場において患者や医療従事者が犠牲となる痛ましい事件が相次いで発生しています。現実には危険が差し迫った状況については、警察との連携が極めて重要であり、日頃より緊密な関係を構築することが重要です。警察への協力のため、また医療機関の安全確保のため、宮崎県警と県医師会役員との意見交換会を11月1日に行いました。

私が推薦する本

五 足 の 靴

著者：野田宇太郎 / 編，太田正雄，北原白秋，平野萬里，与謝野寛，吉井勇 / 執筆
出版社：筑後民藝店

「高齢者てんかん」のすべて

著者：久保田有一 出版社：アーク出版

台 所 太 平 記

著者：谷崎潤一郎 出版社：中公文庫

海 の ア ト リ エ

著者：堀川理万子 出版社：偕成社

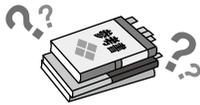
推薦者：都城市 ^{まえ}前 ^だ田 ^{よし}嘉 ^こ子

「五足の靴」柳川版 筑後民藝店を推薦します。久留米大学医学生のころ，西鉄電車で友人と柳川に行ったとき，買ったものです。五足の靴行程図に，都城がのっています。

次に，「高齢者てんかん」のすべて」東京女子医大てんかん外来，医学博士 久保田有一 アーク出版です。私が精神科医になったのは，てんかん，睡眠障害，統合失調症，うつ病，児童精神医学，アルコール性精神障害，覚醒剤精神病，リエゾンすべてを診る久留米大医学部精神神経科の医局の雰囲気からでした。平成2年当時，中沢洋一教授でした。読んだとき，久留米大医学部精神神経科の内村直尚教授のレム睡眠行動障害について，三山吉夫教授が質問した際の衝撃と同様でした。同級生にも，手紙で勧めています。本を配りたい気持ちです。

3冊目は，谷崎潤一郎の「台所太平記」中公文庫です。母のふるさと，鹿児島県南さつま市坊津町泊の女中さんの話です。鹿児島弁が，フランス語みたいで通訳がいるとか，カツオ船のこととか，熱海が坊津に似て女中さんは，全く淋しくないとか，テレビ化されたとのことで，おもしろいです。鹿児島が舞台のテレビということで梅崎春生著の「幻化」を思い出しました。NHKで放送され，伊丹十三，太地喜和子，渡辺美佐子も出たそうです。役場の観光課勤めの私の叔父が，エンジェルランペット，ダチュラの花を探したそうです。母からの言い伝えです。渡辺美佐子さんが，寺田旅館に宿泊し，祖父の運転する遊覧船が，「何時に出るのですか」と質問され，祖父は「いつでもいいですよ」と答えたそうです。今，叔父，叔母が経営するゲストハウス寺田屋になっています。飯田長雄先生らが，写真クラブに来られたと聞いています。絵描きの方らが，宿泊するそうです。ネット，ブログ出していますので，のぞいてください。「坊津 寺田屋の窓から」というタイトルです。楽天ブログです。

最後に，絵本の大賞「海のアトリエ」堀川理万子著 偕成社もお勧めします。



あなたできますか？

— 令和3年度 医師国家試験問題より —

(解答は39ページ)

1. 52歳の男性。全身倦怠感を主訴に来院した。6週間前に進行肺腺癌と診断され、3週間前に免疫チェックポイント阻害薬による初回治療を受けた。全身倦怠感が出現したため受診した。意識は清明であるが受け答えは緩慢である。体温36.8°C。脈拍108/分、整。血圧72/50mmHg。呼吸数20/分。SpO₂97% (room air)。軽度腫大した甲状腺を触知する。血液所見：赤血球 320万、Hb12.0g/dL、Ht38%。血液生化学所見：血糖104mg/dL、TSH0.1 μU/mL (基準0.2~4.0)、ACTH2.0pg/mL (基準60以下)、FT₄1.8ng/dL (基準0.8~2.2)、コルチゾール0.1 μg/dL (基準5.2~12.6)であった。胸部エックス線写真で原発巣の縮小を認める。甲状腺超音波検査では軽度の甲状腺腫大以外は異常を認めない。
治療として適切なのはどれか。
 - a 赤血球輸血
 - b インスリン投与
 - c 殺細胞性抗癌薬投与
 - d 甲状腺ホルモン投与
 - e 副腎皮質ステロイド投与
2. 治療後の経過に関して主治医以外に相談を希望する場合、助言や情報提供を行う施設はどれか。
 - a 保健所
 - b 福祉事務所
 - c 市町村保健センター
 - d 医療安全支援センター
 - e 地域包括支援センター
3. 幼児期以降に筋力低下が明らかになるのはどれか。
 - a Werdnig-Hoffmann病
 - b 新生児一過性重症筋無力症
 - c Duchenne型筋ジストロフィー
 - d 福山型先天性筋ジストロフィー
 - e 先天性筋強直性ジストロフィー
4. 脳脊髄液検査結果を評価する際、脳脊髄液の検査結果と血液の検査結果を比較すべきものはどれか。
 - a アルブミン
 - b グルコース
 - c 好中球数
 - d 蛋白
 - e 白血球数
5. レム睡眠で正しいのはどれか。
 - a 徐波睡眠と呼ばれる。
 - b 骨格筋の活動が活発になる。
 - c 夢を見ていることが少ない。
 - d 自律神経系の活動が変動しやすい。
 - e 成人では一晩の睡眠の半分以上を占める。
6. 総人口を分母とする指標はどれか。
 - a 婚姻率
 - b 乳児死亡率
 - c 老年人口指数
 - d 標準化死亡率
 - e 合計特殊出生率
7. 先天性副腎皮質過形成症の維持療法中に発熱を呈した場合、初期対応として適切なのはどれか。
 - a 水分制限
 - b 抗菌薬投与
 - c 利尿薬静注
 - d 糖質コルチコイドの増量
 - e グルコース・インスリン療法
8. 医療面接について誤っているのはどれか。
 - a 非言語的コミュニケーションは医療情報の収集に必要である。
 - b 感情面に対応した応答は信頼関係の構築のために必要である。
 - c システムレビューを行うと家族歴についての情報が充実する。
 - d 解釈モデルを把握して対応することによって患者満足度は高まる。
 - e 患者教育が十分に行われると治療へのコンプライアンスが高まる。
9. 最も放射線感受性が低いのはどれか。
 - a 甲状腺
 - b 骨 髄
 - c 神 経
 - d 皮 膚
 - e 卵 巢
10. 18歳の男子。複視を主訴に来院した。10日前、野球の試合中にボールが左眼部に当たった。左眼瞼の腫脹と皮下出血は軽快したが、物が二重に見えるという。視力は両眼とも良好であり、眼内に異常を認めない。左方視、右方視、下方視で異常を認めない。上方視時に複視を訴える。左眼の障害部位はどれか。2つ選べ。
 - a 上直筋
 - b 下直筋
 - c 下斜筋
 - d 眼窩上壁
 - e 眼窩下壁

エコー・リレー

(567回)

(南から北へ北から南へ)

院長って大変

宮崎市 にしだ皮膚科 にし だ たか あき 西 田 隆 昭

長のつく役職は責任があ
って大変です。働き始めて
最初についたのは大学病院
での病棟医長でした。入院
調整や手術など大変ではあ
りましたが、まだ教授はじ

め上に相談できる先生たちがいましたのでその分は助かりました。次は県立宮崎病院に出向し3年間皮膚科の科長を務めました。大学に相談できなくはないですが、ほとんどを自分の力で仕事にあたりました。決断と責任の重さは相当なものがありました。その後大学に帰り、医局長になりました。医局運営、臨床業務とも大変でした。ここまでは選ばれたというよりもタイミング的な巡り合わせでした。どれも大変だったのですが、今になれば良い経験をさせてもらったと感謝しています。大学を辞めてしばらくして開業しましたので、今度は院長になりました。これは自ら決めたことです。患者さんやスタッフに対して責任があり、臨床と経営のどちらも大事です。いつも何かしらあるのですが、目下の問題点は辞めるスタッフの後が決まらないことです。数か月前から募集をかけていますが、全く応募がありません。少ない人数で対応するため、受付時間を短くし、昼休みにしていた手術をやめました。忙しくなって雪崩式に辞める人が出てくるのが最も危惧されます。医師としての仕事自体はそう嫌いではないし、結構あっているのではないかと自分では思っています。吹けば飛ぶような小さなクリニックですが、やはり院長は大変です。

[次回は、宮崎市の黒川 基樹先生をお願いします]

朝のジョギング・サイクリング祝10周年

串間市 串間市民病院 え とう とし はる 江 藤 敏 治

ありがたいことに、今年
60歳という節目を迎えまし
た。5歳のころから続けて
いることとして毎朝のジョ
ギングと週2回の3時間あ
まりのサイクリングです。

三日坊主だった自分が続け
られたのは、朝の気持ちいい時間、朝日の輝
き、鳥のさえずり、風の気持ちよさだったと思
います。また打ち寄せる波の音はいろいろなイ
メージを湧き上がらせてくれます。

宮崎の空と海の色は世界一です。深くて爽や
か、きれいな青色です。花々の色の濃さも元気
よく、雨の日も緑がとて深くなり、草花や木
々が息を吹き返しているようです。毎朝の朝日
や花々を写真に収めています。

びっくりしたことが2つあります。青島で絵
にかいたような朝日を撮っていたとき、後方で
怪しげな雰囲気！ずんずん、ずんずんという感
じです。振り返ってみるとそこには巨大なウミ
ガメ！産卵を終えてノソノソと母なる海に帰っ
ているところでした。2つ目は先日、朝焼けを
撮っていたとき、ん？と振り返ると、きれいな
「キジ」がまるでペットのように私の真後ろ
に！一瞬孔雀？と思うほどのきれいで、数分
間そばを離れないで、時々目を合わせるんす
ね。不思議な体験でした。写真を見たいとい
う方はぜひ串間に遊びに来てくださいね。健康
行動は健康を目標にするとなかなか続きませ
んが、自分の楽しみや趣味を目標にすると結
構続くものだなと今更ながら実感しております。
次のエコー・リレーは大学同期の上園繁弘先生
です。元気にバトンタッチ^^

[次回は、日向市の上園 繁弘先生をお願いします]

メディアの目

宮崎ハネムーンベイビー

西日本新聞社 宮崎支局長

こうや ゆきこ
神屋 由紀子

私はフェニックスハネムーンベイビーだ。宮崎が空前の新婚旅行ブームに湧いた昭和40年代、両親も多分に漏れず、当地を訪れ、私は生まれた。

中学時代、修学旅行で南九州を巡り、青島や鶴戸神宮を訪ねたくらいで、その後は宮崎と縁があまりなかった。福岡に本社を置く新聞社の記者となり、取材で訪れたのも指で数えるほど。その中で時折思い出す男性がいる。

二十数年前、運動部の記者だったころ「toto（サッカーくじ）で1億円が当たった」と職場に連絡してきた奇妙な男性がいた。西日本スポーツの愛読者という。巨額を得る喜びを友人に言うわけにもいかず、かといって家族にも話せず、見ず知らずの記者に話そうと思ったのだろう。

それから4か月後。サラリーマンの彼がどんな生活を送っているのか聴きたいと思い、彼が住む宮崎市を訪れた。

「1億円は一生遊んで暮らせる額じゃない」。そう思っても仕事に奮起できないと彼は語った。いつ自分が崩れてしまうのか、プレッシャーとの闘い。「自分と同じような当せん者と会って話がしたい」と苦しい胸の内を吐露した。

取材は初夏の激しい雨が降る日だった。「寝苦しい夜、遊んで暮らす夢は、まだ見たことがない」。男性の微妙な心理の揺れにひかれて書いた原稿の最後はそう結んだ。

今年の夏、私は人事異動で宮崎に着任した。

内示を受けたとき、実は「韓国より遠い」と思った。福岡から飛行機に乗る時間を考えれば宮崎は釜山とそう変わらない。ただ私自身、韓国には70回以上訪れ、仕事で釜山、ソウルと2度、特派員で駐在した。そんな個人的な経験に根ざす距離感だ。

宮崎駐在の初日は、やはり1億円の男性を取材した日のような激しい雨が降っていた。

西日本新聞は2018年に宮崎や鹿児島で休刊したものの、記者はそのまま置き続け、九州の取材網を維持している。紙が出ていない地域でどう取材していこうかと案じたが、暮らしてみると宮崎を経験した記者が異口同音に言うように人が親切で優しく、杞憂に終わった。

それを特に感じたのは、宮崎大学での取材だった。政情不安なアフガニスタンから安住の地を求める元留学生の悲痛な声に、教師たちが手を差し伸べ、研究費を工面して受け入れていた。人道に基づく献身的な活動には頭が下がる。

この話は地元宮崎でほとんど報じられていない。だが、9・11米中枢同時テロ以降の日本とアフガンの関係をふまえれば地域を越えて共有されるべき話と考え、原稿を書いた。

今は韓国での取材と同様、紙が出ていなくとも「国内特派員」と思い、こうした出会いを楽しみにしている。母の腹にいたときからの縁だ。少なくとも、私には寝苦しい夜はない。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第14回 個別指導・監査について



Q.

昨今、医療機関に対する個別指導や監査が多く行われていると聞きます。そもそも、医療機関に対する個別指導や監査とは何ですか？ また、日頃からどのような準備をしておくべきでしょうか。

保険医療機関などは、治療費のうち患者から一部負担金を徴収し、それを控除した分を保険者にレセプト（診療報酬明細書）により請求します。当該レセプトの内容に誤りや不正が予想される場合、当該保険医療機関に対して適切な診療報酬へ修正するよう個別指導や監査が行われます。

個別指導は、①新規開業の医療機関に対して開業後実施される場合 ②診療報酬明細書の1件あたりの平均点数が高い医療機関に行われる集団的個別指導の後、翌年度も高点数に該当する場合 ③患者や保険者からの告発により行われる場合 ④個別指導後の再指導の大きく4パターンに基づき行われます。そして、当該個別指導によって悪質と判断された場合、監査が行われます。なお、個別指導を不当に拒否した場合にも監査の対象となりますので、個別指導を拒否すべきではありません。

個別指導に備えた準備として、まず個別指導が行われるまでに、個別指導の対象となりそうなカルテを点検し、質問に対して的確な回答するためのメモを作成することが重要です。そして、個別指導を行う行政の職員が常に医学的内容に詳しいとは限らないため、カルテの記載に基づき十分な説明を行うことが大切です。また、職員や元職員、患者による告発は、医師と周囲の人間との意思疎通不足が原因であることも多いです。そのため、なぜこのような検査や治療、診断書の書き方をするのかを日頃から説明し、誤解に基づく告発が起きないようにすることも大切です。

もっとも、これらの個別指導や監査が行われる場合、医師の心理的負担が非常に重いことから、県医師会役員が同席するほか、医療機関に詳しい弁護士が手続きに同席するケースも増えています。

そのため、個別指導や監査が行われる場合、決して医師一人で悩まず、県医師会や弁護士へ相談してその対策を協議して、適切な対応を行うことが極めて重要です。

（回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂）

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和5年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 令和4年12月7日(水)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり, 1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は, 他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル, ご氏名を明記のうえお送りください。

宮崎県感染症発生動向 ～9月～

令和4年8月29日～令和4年10月2日（第35週～第39週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核13例（男性6例・女性7例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症13例：宮崎市（5例），都城（4例），日向（3例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。患者が9例，無症状病原体保有者が4例で，年齢群別報告数は0～4歳が4例，5～9歳が6例，30歳代が1例，70歳代が2例であった。原因菌別報告数は【表3】のとおりであった。
- 4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，下痢，血小板減少，白血球減少，全身倦怠感がみられた。
- 日本紅斑熱4例：宮崎市（3例），日南（1例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代が2例，70歳代と80歳代が各1例で，いずれもダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱，頭痛，発疹，DIC，肝機能異常，倦怠感がみられた。
- レプトスピラ症2例：宮崎市，都城保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と70歳代で，主な症状として発熱，筋肉痛，結膜充血，黄疸，蛋白尿，出血症状，腎不全がみられた。
- 5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として肺炎がみられた。
- 後天性免疫不全症候群2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代と40歳代で，いずれも無症候性キャリアであった。
- ジアルジア症1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で，無症状であった。
- 侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，意識障害，菌血症がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。
- 梅毒19例（男性14例・女性5例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，眼症状，左視神経炎，下顎リンパ節腫大がみられた。
- 播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として真菌血症がみられた。
- 百日咳3例（女性3例）：宮崎市（2

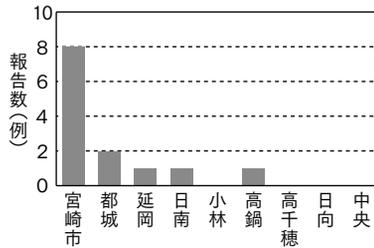


図1 結核 保健所別報告数 (例)

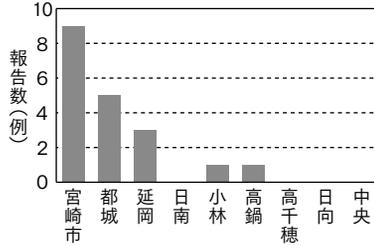


図2 梅毒 保健所別報告数 (例)

表1 結核 病型別報告数 (例)

肺結核	8
その他の結核 (結核性心膜炎)	1
無症状病原体保有者	4

表2 結核 年齢別報告数 (例)

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	2
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	4
90歳代	2

表3 腸管出血性大腸菌感染症 原因菌別報告数 (例)

原因菌	報告数
O157 (VT1VT2)	4
O157 (VT2)	1
O26 (VT1)	3
O103 (VT型不明)	1
O血清群不明 (VT2)	2
O血清群不明 (VT型不明)	2

表4 梅毒 病型別報告数 (例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	6
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	9

表5 梅毒 年齢別報告数 (例)

年齢	報告数
10歳代	3
20歳代	7
30歳代	5
40歳代	2
60歳代	2

■病原体検出情報 (微生物部)

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	1
	Salmonella Stanley (O4:d:1,2)	1
	Salmonella Poona (O13:z:1,6)	1
	EPEC (O119:H21)	1
	EPEC (OUT:HNM)	2
	EHEC (O26:HNM VT1)	27
	EHEC (O103:H2 VT1)	1
	EPEC (OUT:H40)	1
ウイルス	RSウイルス	1
	ヒトパレコウイルス3型	1

例), 日南(1例)保健所管内から報告があった。年齢は0~4歳, 10歳代, 40歳代で, 主な症状として持続する咳がみられた。ワクチン接種歴は不明が2例, 無しが1例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,211人(定点あたり36.1)で, 前月の136%, 例年の48%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症, 咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎で, 減少した主な疾患は水痘であった。また, 例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は特になかった。

RSウイルス感染症の報告数は165人(4.6)で前月の約1.5倍, 例年の約0.4倍であった。中央(20.0), 小林(9.0), 高鍋(8.3)保健所からの報告が多く, 6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は637人(17.7)で前月の約1.4倍, 例年の約0.8倍であった。中央(31.0), 日向(28.3), 小林(26.0)保健所からの報告が多く, 6ヵ月から2歳が全体の約4割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向(2022年9月)

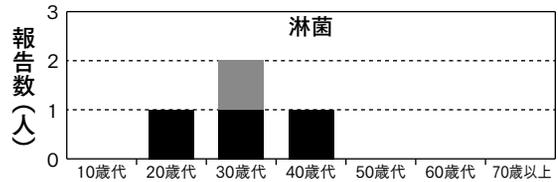
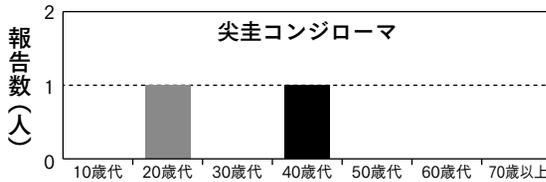
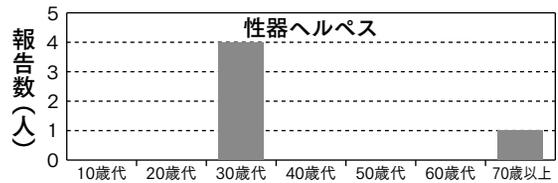
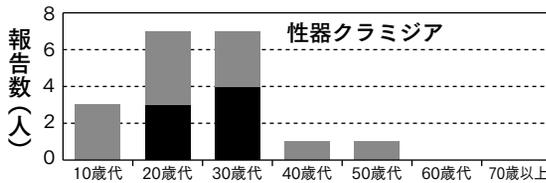
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数: 13

定点医療機関からの報告総数は30人(2.3)で, 前月比107%と増加した。また, 昨年9月(2.7)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症: 報告数19人(1.5)で, 前月及び昨年9月と同率であった。20歳代から30歳代が全体の約7割を占めた。(男性7人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症: 報告数5人(0.38)で, 前月の約1.3倍, 昨年9月の約0.7倍であった。(女性5人)
- 尖圭コンジローマ: 報告数2人(0.15)で, 昨年9月の2.0倍であった。(男性1人・女性1人, 前月報告なし)
- 淋菌感染症: 報告数4人(0.31)で, 前月の0.8倍, 昨年9月の0.5倍であった。(男性3人・女性1人)



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数: 7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で, 前月比93%と減少した。また, 昨年9月(2.0)の約1.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 報告数25人(3.6)で, 前月の約0.9倍, 昨年9月の約1.9倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2022年9月		2022年8月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	2	0.0	1	0.0	
RSウイルス感染症	165	4.6	113	3.1	
咽頭結膜熱	27	0.8	15	0.4	
※溶レン菌咽頭炎	25	0.7	22	0.6	
感染性胃腸炎	637	17.7	458	12.7	
水痘	7	0.2	17	0.5	
手足口病	202	5.6	202	5.6	
伝染性紅斑	5	0.1	0	0.0	
突発性発しん	104	2.9	60	1.7	
ヘルパンギーナ	18	0.5	17	0.5	
流行性耳下腺炎	1	0.0	0	0.0	
急性出血性結膜炎	2	0.3	0	0.0	
流行性角結膜炎	15	2.5	9	1.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各都市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

な かのぶ
むらあきの
あき 彰 伸
会 長 中 村

南那珂医師会運営を託していただき3期目を迎えました。

副会長には、2期目同様、内科の河野秀一先生と脳神経外科の川西昭人先生にご留任いただき、情報音痴の私をサポートしていただいております。ことに河野先生は、医療以外のことにも精通されており、巷の情報を提供していただき、非常に役立っております。

総務には、今まで地区理事だった内科の福岡周司先生に就任していただき、執行部と理事会の司会運営をお願いしております。

ウイルス学が専門の峰松俊夫先生には、これまで同様、宮崎県医師会理事を兼任していただき、新型コロナウイルスの最新知見や宮崎県保健行政のコロナ対策動向について、ご教示いただき、理事を含め会員一同、大変参考にさせてもらっています。

3公立病院からも理事として各1名の先生に就任していただいております。県立日南病院から同病院患者支援センター長の木佐貫篤先生に10年以上前から理事として参画いただいております。県立日南病院における新型コロナ患者受入れ状況や南那珂での患者発生状況について、理事会のたびに詳細に報告をいただいております。

木佐貫理事は、第7波流行以前から民間医療機関に対し、コロナ患者の受入れや治療への積極的参加をお願いしたい旨、切々と訴えて来られましたが、残念ながら当地域でコロナ患者入院受入れ可能な民間医療機関は全くないのが現状で、コロナ患者受入れを一手に引き受けて対応して来られた県立日南病院の先生方には、感謝・感謝です。最近、日南市立中部病院と串間市民病院にて入院受入れを開始していただき、当地域に於いてようやく19床が確保できました。

今後、第8波が襲来するか不明ですが、インフルエンザが流行しやすい季節になります。両感染症の同時対応を迫られることも念頭に置き、保健所などの指示を仰ぎながら、住民の健康維持、会員の負担軽減が図られるように理事の先生方、執行部の先生方の協力を得て、情報収集・発信に努めたいと考えます。

今後もこれまで以上にご指導、ご鞭撻よろしく申し上げます。



南那珂医師会新役員

役員等名簿 (任期 令和4年6月3日定例総会終結後～令和6年6月定例総会終結時)

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	中村 彰伸	眼科	中村眼科	総括
副会長	河野 秀一	内科, 呼吸器科, 消化器科	河野医院	総括補佐, 学術・生涯教育, 病診連携, 産業医
”	川西 昭人	脳神経外科, 神経内科, リハビリテーション科	かわにし 脳神経外科	総括補佐, 医事紛争, 救急医療, 会計, 医師国保
理事	福岡 周司	循環器内科, 内科	福岡医院	総務, 災害対策, 園医, 学校医, 医師国保
”	黒木 和男	内科, 消化器科	串間市民病院	病診連携
*	”	内科, 消化器科, 呼吸器科	きよひで内科 クリニック	急病センター, 学校検診 (心臓・腎臓)
*	”	内科, 小児科	串間中央クリニック	串間在宅ケア研究会, 在宅医療
”	中津留邦展	内科	日南市立中部病院	病診連携
”	峰松 俊夫	内科, 基礎医学 (ウイルス学)	愛泉会日南病院	宮崎県医師会理事, 感染症対策, 医療情報システム
”	木佐貫 篤	病理診断科	宮崎県立日南病院	病診連携
”	飛松 正樹	内科, 小児科	にちなんファミリー クリニック	保険, 介護保険, 日南在宅ケア研究会, 在宅医療
監事	津曲 俊郎	小児科, アレルギー科	津曲小児科医院	
”	満留 武宣	眼科	みつとめ眼科	
議長	百瀬 文教	外科	百瀬病院	
副議長	井手 秀幸	外科, 内科, 胃腸科, 肛門科	井手胃腸科・肛門科	

* は新任

各都市医師会だより

西 諸 医 師 会

会長 うちむらだいすけ
内村大介

令和4年6月24日の第11回定時総会後に臨時理事会において会長に再任され4期目がスタートいたしました。監事の丹光明先生が退任され、杉原純次先生が後任の監事に就任されました。理事には新たに楠元規生先生が就任されました。退任された先生にはこれまでの3期を支えていただき感謝申し上げます、新たに就任された先生には新執行部の原動力としてご活躍いただければと大きく期待いたしております。

新型コロナウイルス感染症は2020年に国内で初めての感染者が確認されてから2年半が経過し、ウイルスは変異しながらこれまでに第7波まで流行しております。その間、感染拡大にともないまして会員の先生方をはじめ、地域の医療機関には発熱外来、感染者への対応、ワクチン予防接種など多大な協力をいただいております。

10月からはオミクロン株対応のワクチンの接種も開始されております。西諸管内ではこれまで同様に医療機関での個別接種となり、インフルエンザ予防接種とも重なる時期のため、医療機関の負担も懸念されます。円滑な実施に向けて各市町とも連携を図りながら進めてまいりたいと思います。

この他、本会立小林准看護学校につきましては近年の入学生の減少と講師や実習施設の確保が困難になっていることなどを理由に今年度を以て閉校することとなっております。最後の生徒が卒業するまで残り半年余りとなりますが、最後までこれまでと変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後は校舎の取壊しや新会館建設など解決しなければならない課題が山積しておりますが、会員の思いをお聞きしながら新役員一同力を合わせ、地域住民が十分な医療を受けて安心して暮らすことができる街づくりに協力しようと思っております。そして、今後訪れる超高齢化社会に向けても全力で取り組んでいきたいと存じますので、皆様方には、これまで以上に多大なご指導ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



西諸医師会新役員

役員等名簿 (任期 令和4年6月24日第11回定時総会終結後～令和6年6月第13回定時総会終結時)

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	内村 大介	精神科, 心療内科	内村病院	総括
副会長	園田 定彦	内科, 外科, 腎臓内科, 消化器内科, 整形外科, 循環器内科, 眼科, 皮膚科, リハビリテーション科, 放射線科	野尻中央病院	准看護学校の管理・運営, 医事紛争, 在宅医療, 介護, 医師連盟 〔教務委員会〕
〃	井尻 裕司	眼科	井尻眼科医院	医師国保, 医師協同組合, 税務, 会計全般
理事	吉村 雄樹	内科, 循環器内科, 放射線科	よしむら循環器 内科クリニック	総務, 広報, 医師年金, 保健予防, 学校保健〔心臓・腎臓検診委員会〕 〔学校医部会〕〔県医師会理事〕
〃	坪内 斉志	外科, 消化器外科	小林市立病院	保険医療, 救急医療
〃	河内 謙介	外科	えびの市立病院	労災医, 自賠責 〔勤務医部会〕〔労災医部会〕
〃	堀 英昭	外科, 消化器外科	堀胃腸科外科医院	時間外急病診療
〃	石澤 宗純	循環器内科, 消化器内科, 内科, 麻酔科	いしざわ 循環器内科	学術, 生涯教育 〔内科医会〕〔整形外科医会〕
〃	竹之内 剛	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	整形外科前原病院	地域医療, 産業医〔産業医部会〕
〃	寺谷 威	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	整形外科 押領司病院	厚生, 労務
* 〃	楠元 規生	内科, 呼吸器内科, リウマチ科, 感染症内科	くすもと内科 クリニック	感染症対策, 公衆衛生
〃	川井田 望	内科, 消化器内科, 外科	川井田医院	健康教育〔有床診療所協議会〕
監事	高崎 直哉	皮膚科	高崎皮膚科医院	
* 〃	杉原 純次	耳鼻咽喉科	杉原耳鼻咽喉科	
議長	志戸本宗徳	内科, 腎臓内科, リハビリテーション科, 放射線科	京町共立病院	
副議長	榎 健一郎	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 糖尿病内科	榎内視鏡内科医院	

* は新任

国公立病院だより

県立日南病院



みね かつひこ
峯 一彦 院長

「研修医は病院の宝物です」。この言葉は、当院の研修管理センター副センター長として長い間研修医指導にご尽力いただいた、早川学先生（宮崎大学地域医療学講座、現在県立宮崎病院勤務）

の信条でした。そしてその言葉通りに、研修医を宝物として大事に育てていただきました。「研修医がいなかった時代のことなどもう考えられないね」と、峯一彦院長先生も折に触れ口にされるほど、研修医の皆さんは県立日南病院に溶け込んでいます。常勤医が40名に満たない県立日南病院ですが、今月（令和4年9月）は院内に在籍する研修医が基幹型・協力型合わせて13人。院内のいたるところで指導医とペアになって真剣に診療に従事している姿が目に残ります。

県立日南病院における初期臨床研修医の新しい歴史は、宮崎大学医学部に宮崎県の寄付講座として地域医療学講座が誕生し、県立日南病院に地域総合医育成サテライトセンターが設立されたと同時に始まりました。サテライトセンターは県立日南病院に地域医療を担う医師を派遣し、地域医療の最前線で診療に当たりながら、地域医療を志す若手医師を育成するというコンセプトで、平成25年にスタートしました。センターの最初のリーダーは松田俊太郎先生（宮崎大学地域医療学講座准教授、現在県立日南病院勤務）でした。他に飛松正樹先生（現在にちなんファミリークリニック院長）、早川先生が、宮崎大学で初期臨床研修を修了した医師と4人で赴任してこられました。松田先生は直前まで

宮崎大学附属病院救急部で診療をされていた経験があり、その時に松田先生から指導を受けた学生など4名が初期研修医として応募してきてくれました。研修開始直前に宮崎市内の居酒屋（橘通2丁目バス停前の「さらい」）での顔合わせ会は、研修開始予定の4名が、研修に対する期待と決意で大いに盛り上がり、同席した小生も次第に気分が高揚してくるのを感じるほどでした。

実際に初期研修が始まると、指導医が熱血指導を行っていただきました。早朝や夕方の時間には、サテライトセンターの4人が、医師として必要な基礎知識や基本的手技を丁寧に指導してくれました。リーダーが松田先生から早川先生にかわり、途中三浦拓先生（都城共立病院、日南市立中部病院勤務）なども協力してご指導をいただきました。研修医教育を開始するにあたり、センター全員で、「病院全体で研修医を育てる」という基本方針を確認しました。具体的には、各科ローテーションによる個別研修では、指導医がマンツーマンで、研修医が理解習得できるまで指導し、診療科の他の医師も、それをサポートすること。個別研修を横糸とするならば、朝夕の30分ずつを利用して、縦糸となるべき全体研修を行うことにしました。朝はシミュレーショントレーニング（救急患者の主訴を想定して、準備してある診察所見や検査結果に応じてフローチャート式に診断に至る訓練）や症例検討会（若手医師や先輩研修医が、屋根瓦式にサポートしてくれます）。夕方のレクチャーでは各科医師、臨床検査技師、認定看護師、臨床工学技士、薬剤師、栄養士など、すべてのスタッフが、講義や実技演習（超音波検査、気管内挿管、縫合手技）などを行ってくれました。

意外と知られていないのですが、医学生が医師国家試験（国試）を受験するように、研修医を対象とする全国規模での「基本的臨床能力評価試験」が実施されています。全国で研修医教

育に熱心な病院を中心に、6,000名程度の研修医が毎年受験しています。当院も初年度から全員参加していました。国試と違って、症状に応じて行うべき検査の順序、診察検査の仕方、予想される検査所見、処方や治療法など、臨床に即した内容となっています。4年前のことでした。試験を主催しているJAMEPから連絡があって、「1年目から2年目にかけて大きく順位を上げて成績上位になる病院を、全国から5つ選んで、研修医が伸びる病院と評価いたしました。つきましては、5つの病院の取り組みや課題を中心に、シンポジウムを開催したいと思います」と告げられました。9月の第一日曜日、まだ真夏の暑さでした。会場であるイイノホール（東京霞ヶ関）までは、最寄りの地下鉄駅からは近かったそうなのですが、不慣れな東京なので新橋駅からかなりの時間をかけて歩いて到着し、流れる汗が温度によるものか、緊張によるものか、わからないままシンポジウムを終えることができました。パネルディスカッションでは、当院のレクチャーに他職種の方が数多く協力してくださっていることに対して、依頼方法や報酬についての質問がありました。簡単な電話依頼で承知していただき無報酬だと答えると、驚きの意見が多く聞かれました。研修医を促成栽培して、少しでも早く常勤医同様のレベルになれば、医師不足の当院ではコメディカル

にとっても有用であることを経験し、実感として理解していると説明しました。

平成25年度の4名からスタートした基幹型研修医は、今年度研修開始した4名を合わせると、総勢43名になりました。研修を修了して巣立っていった33名のうち、7名が宮崎大学医局からの派遣医として当院で勤務（非常勤を含む）してくれました。熟知した施設や職員なので、勤務早々からフルパワーで仕事ができると喜んでくれていました。後輩の研修医に対して、診療科での指導だけでなく、朝夕のレクチャーに関しても、お礼奉公だといって積極的に参加してくれました。後輩にとっても、私たちにしても大変心強い存在でした。

来春には、第11期の基幹型研修医を迎えることとなります。これまでの10年間は、宮崎大学地域医療学講座サテライトセンターの先生方個人の献身的なご指導に大きく依存してきました。来春からは指導者が変わっても、従来のように研修医が成長できるような研修を継続できるシステム作成と集団管理体制を構築し、実践していけるようになることが、喫緊の課題であると考えています。

来年の大河ドラマ主人公の徳川家康も、「最大の宝は道具や武器ではなく人である」と言い残しています。宝物は大事に育てたいものです。

（文責：原 誠一郎）



宮崎大学医学部だより

内科学講座

— 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 —

しもだ かずや
下田 和哉 教授

血液・糖尿病・内分泌内科は、2021年4月の内科学講座再編時に第2内科の血液グループと、第3内科の内分泌・代謝グループが統合し誕生しました。下田和哉教授、山口秀樹准教授の下、40名の

医局員（大学内17名、関連病院出張者18名、国内留学者・その他5名）が在籍しております。

診療面では血液内科は、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫などの造血器悪性腫瘍を主な対象疾患としています。これらに対する治療は、県内の施設と宮崎へマトロジーグループ（MHG）を形成し、各疾患に関する密な情報交換を行い、統一した治療方針で行っています。また、2015年には非血縁者間同種移植の認定施設を取得し、2022年5月までに154例の同種造血幹細胞移植を行いました。これにより、治療のために県外への転院を余儀なくされていた患者さん方の治療が、県内で完結できるようになりました。

内分泌・代謝・糖尿病内科は、糖尿病、脂質代謝異常、肥満症などの代謝性疾患と内分泌疾患を主な対象としています。糖尿病の患者さんは極めて多く、1型糖尿病、2型糖尿病、ステロイドによる糖尿病、遺伝子異常による糖尿病、妊娠糖尿病などのさまざまな糖尿病、糖尿病ケトアシドーシスなどの診療を行っています。糖尿病の合併症は全身に起こるため、きめ細かな管理が必要とされます。当科では糖尿病専門医、

薬剤師、栄養管理士、糖尿病認定看護師など多職種からなるチーム医療で患者さんをサポートしています。代謝性疾患につきましては、脂質代謝異常症、高度肥満症の外来治療を行っています。内分泌疾患については甲状腺、視床下部・下垂体、副腎などの内分泌異常および内分泌腫瘍の診療を行っています。

当講座の主な県内関連病院としては、県立延岡病院、延岡市医師会病院、千代田病院、県立宮崎病院、古賀総合病院、愛泉会日南病院、都城医療センター、京町共立病院等があり、医局員が日々、地域医療に貢献すべく努力しております。

研究においては、宮崎県に多い成人T細胞白血病・リンパ腫（ATLL）の病態解明と最適治療法の開発、真性多血症・本態性血小板血症などの病態解明と新規治療法の開発、新規糖尿病治療薬の効果、電子装置による生活習慣病への介入研究、血糖コントロールにおよぼすパーソナリティの研究などを行い、宮崎からのエビデンス発信に注力しています。

医師教育においては、疾患だけではなく患者さん全体の診療ができる医師育成を行っています。各人が専門とする領域の修練では新内科専門医制度に則って研修を行い、専門医を最短で取得できるように指導しています。また、大学院では、臨床と基礎研究の架け橋となる研究に接することで広い視野での医学の専門家を育てることに努めています。

学生教育においても疾患の知識習得のみならず、診断に至るまでの内科的な考え方、患者さんの要望に沿った治療選択など総合的な指導を行っています。

医師会の諸先生方におかれましては、今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

（医局長 日高 智徳）

部会だより

産業医部会



かわの まさゆき
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会産業医部会は、産業医活動を促進し、産業医学の研究と職場における労働者の安全・健康増進を図ることを目的に昭和51年4月に設立され、令和4年で46年目を迎えました。会員数

は386名（10月末現在）。役員は河野部会長（県医師会長）をはじめ、各郡市医師会などから選出された理事を中心に構成しています。主な活動としては、産業医研修会の他、年1回開催する理事会や総会、また、県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会を年1回開催し、医師会、労働局、産業保健総合支援センター、各事業者団体の間で、産業保健活動についての意見交換を行っています。

今年7月1日から7日までの期間に令和4年度の全国安全週間が「安全は急がず焦らず怠らず」のスローガンの下実施されました。

労働災害は長期的には減少しておりますが、近年就業人口の高齢化による高齢労働者の労働災害や転倒、腰痛といった労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加していることから、労働災害全体の件数が再び増加に転じている状況にあります。更に、コロナ禍を含め世界情勢が不安定な中、円安も重なり企業数が減少傾向にある一方で日医認定産業医数は累計10万人を超えており、都市部の企業では産業医の選別が進行中とのことです。

オンライン化が進み、他職種との協力も必要となり、これからの時代に産業医が求められるものはますます拡大し、業務内容も複雑になっ

ていくことが予想されます。また、産業医の世代間ギャップ、塵肺や産業中毒などの社会問題に深く関わった世代と過重労働やメンタルヘルス対策が中心課題となった世代との間にスキルや認識のずれが生じております。しかし化学物質管理では新たな管理手法への移行が要求されるなど古くて新しい課題もあり、実務者は常に知識をアップデートする必要があります。

これからの時代に選ばれる産業医でいるためには、多様な課題を想定し個々の能力の維持向上に努めなければなりません。

このようなことから本部会では、産業医の養成および資質向上に力を入れているところであります。研修会の内容は日医認定産業医制度関係小委員会で検討し、令和3年度は、各郡市医師会や産業保健総合支援センターにご協力をいただきながら、未認定医対象の基礎研修会を10回（20単位）、認定医対象の生涯研修会を47回（94.5単位）実施しました。このうち2回は、TV会議システムを利用することで、先生方のご都合のよい会場で受講いただけたことと存じます。令和3年度につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により予定しておりました研修会が中止となり、会員の先生方にはご迷惑をおかけしました。本年度以降も各郡市医師会や産業保健総合支援センターのご協力をいただきながら、できるだけ多くの受講機会を提供していきたいと考えておりますので、ぜひご出席ください。

当部会に入会をご希望の先生へは、入会申込書をお送りしますので、宮崎県医師会事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

（常任理事 吉見 雅博）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

－ 各種委員会 －

医学会誌編集委員会

と き 令和4年9月15日(休)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本理事の司会により開会, 小牧副会長の挨拶の後, 任期満了による委員改選を報告した。続いて, 新委員長に就任した甲斐眞弘先生の進行で協議が行われた。

掲載論文16編からなる第46巻第2号のカテゴリーの検討が行われ, 総説2編, 診療2編, 症例9編, 地域医療1編, 学会記録1編, クリニカルカンファレンス1編と, 編集後記担当者を決定した。

第47巻第1号総説の執筆依頼については, 宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 宮崎泰可教授, 宮崎大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野 古川貢之教授へ依頼することが承認された。

また, 前期より検討事項であるカテゴリーについては, 引き続き検討していくこととした。



出席者

県医師会館－甲斐委員長, 大西副委員長,

中谷・黒木・黒岩・福留・

山下・河野・濱川・稲津委員

Web (Zoom)－中馬・菊池・阿南・峰松委員,

市来副担当理事

(県医) 小牧担当副会長, 嶋本主担当理事,

田畑担当理事, 牧野課長, 渡邊係長

県医師会館大規模修繕工事について

現在, 宮崎県医師会館は, 竣工から15年目の大規模修繕工事を行っております。

工事中は, 騒音や駐車場の減少などご迷惑をおかけいたします。

安全確保に十分な対策をしておりますので, ご理解ご協力をお願いいたします。

工事期間

9月12日から2月初旬(予定)

工事時間

8:00~17:00

※ 近隣住民への配慮および会議・研修会などへの影響をできるだけ減らすため,

土・日・祝および平日17:00以降は原則作業をしません。

第1回各郡市医師会長協議会

と き 令和4年9月27日(火)

ところ 県医師会館および各郡市医師会館等 (Web会議)

1 開 会

市来常任理事の司会により開会し、河野会長の挨拶の後、報告・協議に入った。

2 報告および協議

1) 地域医療構想について

県医療政策課から、本年3月に厚労省から新型コロナウイルス感染拡大を受け、あらためて示された「地域医療構想の進め方について」をふまえた本県の対応および外来機能報告をふまえた「地域の協議の場」に関する本県の対応について、10月20日開催の宮崎県地域医療構想調整会議での協議に先立ち説明があった。

2) 新型コロナウイルス感染症について

吉田常任理事に進行を交代し、はじめに、県感染症対策課から、現在の感染状況や医療提供体制の対応および9月26日からの国の全数届出の見直しにともなう対応について説明があった。見直し後の届出対象者は、65歳以上や入院を要する方などの4類型に限定され、届出の対象外となる方については、医療機関において入院調整を含めて対応いただくよう協力依頼があった。また、新型コロナウイルス感染症と診断された方に配付する体調悪化時等の案内チラシを県内医療機関に送付したとの説明があった。体調悪化時は宮崎県フォローアップセンターがこれまでに蓄積されたノウハウをもって対応するとの説明であった。

続いて、県薬務対策課より、ワクチン接種率や大規模集団接種の説明があり引き続き協力依頼があった。

宮崎市郡の高村会長から、陽性患者が一番重要としている情報は、いつまでが療養

期間なのかということである。陽性者向けのチラシに発症日欄がないため次回改訂する場合は、発症日を記入する欄を設けるようお願いがあった。また、南那珂の中村会長から、医療機関を受診せず検査キットで陽性判定が出た方のチラシの入手方法について質問があり、県から、陽性者登録センターからメールで送付されると回答があった。

延岡市の佐藤会長から、新型コロナウイルス感染症診療の手引きで推奨されている陽性者への10日間のステロイド剤を含む多剤処方について、医療逼迫時の特例として、診療報酬の審査において認めていただけるよう県医師会から各審査委員会へ申し入れてほしいとの要望があった。嶋本常任理事から、事前に国保および社保の審査委員会に確認したが、療養担当規則において規定のとおり、処方日数は医学的に真に必要な範囲内であると考えている。従って、個々の患者の傷病、状態および投与する医薬品によって検討の上判断すべきものと料するとの回答があり、一律に判断されるものではないことについて理解を求めた。

また、同じく延岡市の佐藤会長から、発熱等の新型コロナ疑い患者診療時に直接患者と対面せず診療可能なツールとして、患者がWeb上で入力する問診フォームの紹介があった。

最後に、河野会長から、9月20日に行われた都道府県医師会長会議において協議された新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制および各県からの事前質問に対する日医の回答について報告があった。

3) 看護学校の管轄省庁の違いによる格差に

ついて

延岡市の佐藤会長から、省庁の違いで、看護大学と専門学校の補助金の基本算定額や定員に対する増員数に大きな差があるため、省庁間の垣根を取り統一した適用となるよう、日医を通して国に対する要望の依頼があった。赤須常任理事から、国等からの運営交付金等を確認すると大きな格差がある。機会あるごとに日医へ働き掛け格差を是正する政策を打ち出すようお願いしていくと回答があった。

4) 臨床研修医を対象に実施している会費減免期間の延長について

市来常任理事から、日医が、若手医師の入会を促進し医師会の組織率を強化するために現在臨床研修医を対象に実施している会費減免期間卒業後2年間を同5年間に延長することとなり、本会でも同様に延長する方針であることが説明され、各郡市医師会においても同様の取組みを行うよう協力依頼があった。

5) オンライン資格確認の原則義務化の対応について

荒木常任理事から、ほとんどの医療機関がこの義務化の対象となること、また、導入にともなう補助金等について説明があり、来年4月から運用を開始できるよう各郡市医師会に対し会員への周知依頼があった。また、インターネットでのカードリーダー申込みが難しいなどの医療機関向けに、顔認証付きカードリーダーのデモンストラクションを含めた現地説明会を10月15日(土)に開催予定であることが報告された。

延岡市の佐藤会長から、電子カルテ接続費用が高額となったが、診療所に対する補助は非常に少なく結局手出しが発生した。導入補助金について日医を通して見直しを求めるよう提案があった。これに対し、荒木常任理事から、日医では国への要望のための根拠材料を集めているので、未導入の方は、まずは見積もりを取っていただき、

見積もりが極端に高いということなどがあれば、日医の相談窓口にぜひお寄せいただきたいと回答があった。

6) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」について

赤須常任理事から、7月26日に県知事あてに医療機関の負担軽減のための施策を講じるよう要望書を提出したことが報告された。また、9月9日には、当該交付金に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」6,000億円が創設され、交付限度額が県と市町村、別々に示されていることから、市町村でも独自に活用することが可能となっている。また推奨事業メニューの中で医療・介護・保育施設等の物価高騰対策支援は、事業者支援の一番目に位置づけられていることが説明され、各郡市医師会においても市町村に積極的に働きかけ、交付金を最大限活用されるよう依頼があった。

出席者

各郡市医師会長

高村(宮崎)・田口(都城)・佐藤(延岡)・千代反田(日向)・永友(児湯)・松本(西都)・中村(南那珂)・植松(西臼杵)・帖佐(宮大医)会長、井尻(西諸)副会長

県医師会

河野会長、山村・小牧副会長、荒木・市来・吉田・金丸・池井・石川・高木・嶋本・赤須・大塚・吉見常任理事、峰松・佐々木・玉置・上山・田畑・落合・山中・河原・吉村理事

事務局

竹崎局長、園山次長、久永・松本・牧野・野尻課長、湯浅課長補佐、田崎係長、横山主事、杉田医師国保組合事務長、小川医師協同組合事務長、大野・鳥井元課長

九州医師会連合会第402回常任委員会

と き 令和4年8月27日(土)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー（一部テレビ会議）

1 挨拶

1) 九州医師会連合会長（大分県河野会長）

2 報告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎについて

(大分)

8月2日(火)テレビ会議により、沖縄県から大分県に引継ぎを完了した旨の報告が行われた。

2) 九州医師会連合会第123回定例委員総会について (大分)

本常任委員会終了後に開催される定例委員総会の内容、スケジュールの報告が行われた。

3) 10月1日(土)の九医連各種協議会の日医役員について (大分)

日本医師会から、地域医療対策協議会は江澤常任理事、医療保険は長島常任理事、介護保険は今村常任理事が派遣される旨の報告が行われた。

3 議事

第1号議案 令和3年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

沖縄県から、歳入合計100,085,406円（前年度繰越50,586,785円含む）、歳出合計21,013,119円、差引79,072,287円を大分県に繰越す旨の説明が行われ原案どおり承認された。

第2号議案 令和4年度九州医師会連合会事業計画に関する件

大分県から、定例諸会議の開催に関する事業計画などの説明が行われ原案どおり承認された。

第3号議案 令和4年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和4年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第3号と4号議案は一括審議され、大分県から、前年度同額の会員一人年額2,000円（会員数24,195名）の会費とすることおよび歳入歳出128,563,287円からなる予算の説明が行われ原案どおり承認された。

第5号議案 令和4年度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

大分県から、慣例で担当県の隣県より福岡県の瀬戸裕司委員、宮崎県の小牧斎委員を監事に選定することが提案され原案どおり承認された。

第6号議案 令和4年度第122回九州医師会医学会事業計画に関する件

大分県から、現地およびWebを含めたハイブリット開催とし、11月25日(金)に前日諸会議、26日(土)に役員合同協議会と総会・医学会、27日(日)に分科会を計画している。記念行事については残念ながらすべて中止とする旨の説明が行われ原案どおり承認された。

第7号議案 令和4年度第122回九州医師会医学会会費賦課に関する件

前年度同額の会員一人年額2,000円（会員数24,195名）の会費とすることの説明が行われ原案どおり承認された。

以上、第1号議案から第7号議案は定例委員総会に上程することが重ねて承認された。

第8号議案 次回第123回（令和5年度）九州
医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回
第124回（令和6年度）同学会開催担当県の
内定に関する件

九医連（九州医学会）医学会施行細則等を
ふまえ、次回担当県を長崎県に決定、次々回
担当県を熊本県に内定することが承認された。

4 協 議

1) 中国四国医師会連合隣接ブロック当番県
医師会長会議について（大分）

中国四国の案内により九州、近畿の3ブ
ロックの担当者が12月17日(土)に広島市に
集い開催されるもので、九医連会長の大分

県河野会長、副会長の長崎県森崎会長が出
席することが承認された。

5 その他

1) 九州各県医師会学校保健担当理事者会に
ついて

熊本県から、来年度の九州ブロック学校
保健・学校医大会を主な議題とする担当理
事者会を、11月5日(土)に開催する旨案内
するとの報告が行われた。

6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

日医インターネットニュースから

■インフルとの同時接種などを追記 — 予診票の確認ポイント, 厚労省 —

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室は9月29日付で、新型コロナウイルスワクチン接種の予診時の確認項目をまとめた「予診票の確認のポイント」を改訂したことを事務連絡した。コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種や、9月20日から接種が始まったオミクロン株対応ワクチンに関する項目などを追記している。

コロナワクチンとインフルワクチンの同時接種の項目では▽コロナワクチンは筋肉内注射、インフルワクチンは皮下注射であること▽各ワクチンの局所反応を区別できるようにそれぞれ別の腕に接種する（難しい場合は接種部位の間隔を2.5cm以上あけることが望ましい）ことへの留意を求めた。オミクロン株対応ワクチンの項目では、接種対象者や接種間隔など、医療従事者が確認すべき点を解説している。

ほかに、5歳以上11歳以下の小児への3回目接種の項目なども追記した。

事務連絡の題名は「『新型コロナウイルス 予診票の確認のポイント Ver8.0』について」。

予診時の確認事項に関し「接種の実情や、科学的知見の集積等を踏まえ随時改訂することがある」としている。（令和4年10月4日）

■かかりつけ医の有無で健康意識に差 — 松本会長 —

松本吉郎会長は10月4日の日本健康会議2022で講演し、「かかりつけ医がいるかいないかによって、国民の健康意識に差が出ている」と述べ、国民の健康増進に向けたかかりつけ医の関与の重要性を訴えた。

松本会長は、日医総研がWPにまとめた「日本の医療に関する意識調査」で、かかりつけ医のいる人といない人との間で健康意識に差が見られたことを紹介。特に健康診断を定期的に受けるようにしている人の割合は、かかりつけ医がいる人では57.7%だったのに対し、いない人では40.8%だったとし、「かなりの違いが見られる。しっかりかかりつけ医を持って健康管理に取り組んでいただきたい」と述べた。

また、日医が「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」に参画していることを説明し、「医師が予防・健康づくりに関与することで、健康増進効果がより高いことを示すエビデンスが出るように取り組むことが重要」と指摘した。

予防の観点からワクチン接種の重要性も訴えた。「(新型コロナウイルス感染症の)波は収まりつつあるが、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念され、まだまだ油断できない」と強調。国民に対し接種にしっかり取り組むよう求めるとともに、日医としても「すぐにでも1日100万人の接種を行う体制は整えられている」と述べ、万全の態勢で臨む考えを示した。

（令和4年10月7日）

■診療・検査医療機関の拡充に尽力

— 財政支援継続が重要・松本会長 —

松本吉郎会長は10月12日の会見で、11日午前に加藤勝信厚生労働相と面談し、診療・検査医療機関の拡充や公表のさらなる推進について、協力要請を受けたことを明らかにした。

これを踏まえ、同日夕に開催された新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会で、あらためて診療・検査医療機関の拡充を要請したことや、今週中に都道府県医師会、郡市区医師会に対して発熱外来診療体制のさらなる強化を

求める文書を発信することを説明した。

その上で、国に対しては「この秋冬の発熱外来の診療現場を支えるためには、やはり財政支援の継続が大変重要である」と訴えた。

加藤厚労相との面談では、物価高騰対策についても直接要望したことを明らかにした。松本会長は、物価高騰対策として新たに6000億円規模の予算が措置される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、現状ではまだ医療機関等への支援が補正予算に盛り込まれていない自治体や公表されていない自治体があることに言及。「公定価格で運営する医療機関等では物価の高騰を転嫁できない事情を踏まえ、推奨事業メニューのトップに掲げられているので、できる限り全ての自治体で医療機関等への支援が実現するよう、厚生労働省にさらなる対応をお願いした」と説明した。

また、今月3日の岸田文雄首相の所信表明で、家計や企業の電力料金負担の増加を直接的に緩和する前例のない思い切った対策を講じるとの方針が示されたことに触れ、「医療機関を含めて負担の増加を直接的に緩和する全国的な対策となるように政府をお願いする」と述べた。

さらに、感染症法等の改正については「元々は役割分担と連携という今回のコロナ対応の教訓を生かしたものでなければならない」と指摘。法改正により感染の初期対応を担う医療機関には減収補償の仕組みが創設されることなどを挙げ、「現場の懸命な努力によって築かれてきた現在のコロナの医療体制をベースにして、再びコロナが拡大したり、コロナに類似した新興感染症が現れたりした時に備えるということ

が肝要だ」とした。

釜薙敏常任理事はオミクロン株対応ワクチンについて、当面はBA.1対応とBA.4-5対応の両方が使える形になることを説明。接種対象者がどちらかのワクチンを希望して接種できるような体制は取れないだろうと予想した上で、「いずれにしろ、接種可能なワクチンを速やかに対象の方には打ってもらうことが大事」と話した。

(令和4年10月14日)

■期限近い小児用ワクチン、廃棄しないで — 延長視野に厚労省 —

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室は10月7日、ファイザー製の小児（5～11歳）向け新型コロナワクチンについて、有効期限を迎えた未使用のワクチンを廃棄しないよう求める事務連絡を出した。有効期限延長に向け、同社が安定性試験を継続中としている。

対象は期限が10月末（ロット番号「FN5988」）か、11月末（同「FP0362」「FR4267」）の未使用ワクチン。有効期間が延長された場合に再活用できるよう、「ロット番号を確認の上、他の使用可能なワクチンと区別して、有効期限が延長されるまでは接種に使用しない」ことなどを要請した。

題名は「ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて」。同日、「小児の新型コロナワクチンの接種に使用するファイザー社ワクチンの配分等について」という事務連絡でも同趣旨の内容を周知した。

(令和4年10月14日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

グループ保険(団体定期保険)のおすすめ

死亡保障は最大
4000万円!

特 徴



- ①「お手頃な保険料」
スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で補償を準備
- ②「毎年見直しができる」
ライフステージの変化に合わせて補償を毎年見直せます
- ③「ご家族の補償も準備」※1
配偶者様も一緒にお申込みできます
- ④「配当金も魅力」※2
剰余金が生じた場合は、配当金を受け取れます
- ⑤「申し込み手続きが簡単」※3
簡単な告知のみで、医師の診査は必要ありません



※1 本人は1,000万から4,000万まで、500万刻みで加入でき、配偶者は1,000万まで加入できます。

※2 配当金は毎年変動し、0(ゼロ)となる可能性もあります。

※3 健康状態によっては加入できない場合があります。

【補償内容】

死亡や所定の高度障害になった場合に、お支払いします

【加入資格】

新規加入は満50歳6カ月まで、継続は80歳6カ月まで

【月額保険料例】

40歳男性、補償金額4,000万円の場合・・・5,240円

45歳女性、補償金額4,000万円の場合・・・5,400円

50歳男性、補償金額4,000万円の場合・・・9,800円

『クレーム対応費用保険』をご存じですか？

もし、クレーム行為により診療が阻害されたら・・・

医療機関の皆さまのご要望に応え、クレーム行為に対応する「無料相談」と「弁護士費用」がセットになった商品です！

<p>① 専門相談窓口への無料相談サービス</p> <p style="text-align: center; background-color: #333; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">クレームコンシェル</p> <p>クレームコンシェルとは、クレーム行為に関する相談窓口のことです。サポートメンバーがクレームに関するご相談に対し、対応方法など解決に向けたアドバイスを行います。</p>	+	<p>② 弁護士委任した場合の費用補償</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">相談料</div> <div style="background-color: #333; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">訴訟費用</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">報酬金</div> <div style="background-color: #333; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">着手金</div> </div>
---	---	---

【主なクレーム事例】

- 患者が「注射してくれるまで帰らない」と診察室で仰向けになり、次の患者が入れない状況になった。
- 待ち時間が長いことに腹を立てた患者が、受付カウンター越しに職員の肩をつかんで罵倒した。
- 医学的に根拠のない内容の診断書を書くように脅され拒否したところ、毎日診療所へ押しかけ「大声を出す」・「居座る」などの業務妨害を受けた。
- 女性看護師や女性事務職員数名に、待合室や廊下などですれ違い時に抱き着くなど、問題行動が再三続けられた。
- 他の患者の前で「ヤブ医者だ」と罵倒された。・・・など

【プランの内容と年間保険料】

お支払いする弁護士費用の支払限度額			
	プラン ①	プラン ②	プラン ③
	1事故100万円	1事故200万円	1事故300万円
	期間中300万円	期間中600万円	期間中900万円
自己負担額 1万円			
縮小割合 90%			
一般診療所	20,000円	25,000円	30,000円
病院(100床未満)	80,000円	100,000円	120,000円
病院(100～499床)	100,000円	150,000円	200,000円

(この保険の詳細等は下記までお問い合わせください)

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL : 0985-23-9100

FAX : 0985-23-9179

医師国保組合だより

保健事業のご案内

実施期間：令和5年3月末日まで 請求期限：令和5年5月19日まで（必着）

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料です

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ※配偶者は75歳の誕生日前日まで
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）
※年度中に40歳になる方～74歳の方は、特定健診対象者です。

◆日曜健診について

宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日の健診を実施しています。
上記対象者ならどなたでもご利用できますので、ぜひご予約ください。



ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）

スマホからWeb申込みできます！⇒

年	月 日	健 診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡検査 (定員各5名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各5名)	マンモグラフィ検査 (定員若干名)
令和4年	11月27日	○	胃内視鏡検査および 低線量ヘリカルCT肺がん検診は すべての日程で 定員に達しました	○	○
	12月11日	○			○
令和5年	1月22日	○			×
	2月19日	○			○
	3月5日	○			×
	3月12日	○			×

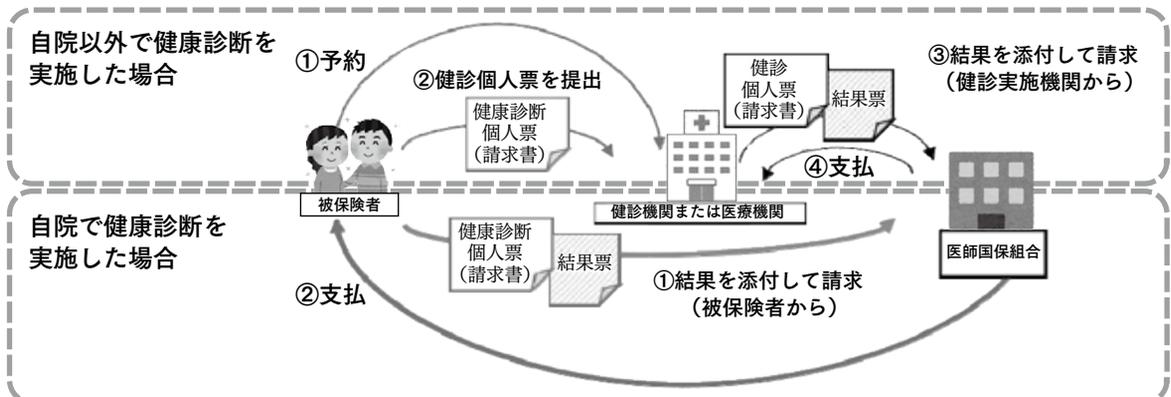
(令和4年10月11日現在) ○：予約可，×：予約不可

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センターへ直接お電話ください。(TEL0985-77-9108)

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院でも実施しても当組合に請求することができます。

その際は、健康診断個人票（黄色）の必須検査項目（★印の項目）を必ず実施してください。



特定保健指導

◆対象者

対象者には、当組合より利用券を送付します。

特定保健指導のご案内が届いた方は対象施設にご予約ください。

2 インフルエンザワクチン接種補助

◆対象者

被保険者全員並びに高齢組合員

◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合Webサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査（無料）

申請書は、
当組合Webサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保組合からのお知らせ

<医師国保組合へのご加入について>

会員の先生にとって、廉価な保険料で充実した保健事業を提供する医師国保組合への加入をご検討ください。詳細については、当組合までお問合せください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保組合にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き当組合に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2022年10月1日～10月25日

1	ハヤブサ消防団	池井戸 潤	集英社
2	吉原裏同心 [㊤]	佐伯 泰英	光文社文庫
3	その本は	又吉直樹・ヨシタケシンスケ	ポプラ社
4	80歳の壁	和田 秀樹	幻冬舎新書
5	百花	川村 元気	文春文庫
6	禁断の中国史	百田 尚樹	飛鳥新社
7	20代で得た知見	F	KADOKAWA
8	三千円の使いかた	原田 ひ香	中公文庫
9	invert II	相沢 沙呼	講談社
10	結局、腸が9割	川本 徹	アスコム



令和4年9月6日(火) 第11回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について
 - ①12/18(日) 第17回宮崎県作業療法学会名義後援について
 - 「自己実現～個々の健康と幸福な生活の持続～」をテーマに開催される学会で名義後援をすることが承認された。
2. 日本医師会の委員会委員の委嘱について
 - 日本医師会が設置する委員会について、小牧副会長に定款・諸規程検討委員会、金丸常任理事に勤務医委員会への委嘱の依頼があり、承認をした。
3. 令和4年度公衆衛生事業功労者表彰（厚生労働大臣表彰）候補者の推薦について
 - 健康増進，疾病予防，生活衛生，衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で，3名を推薦することが承認された。
4. 10/19(水) (県医) 都道府県医師会医師会組織強化担当役職員連絡協議会の開催について
 - 医師会組織強化に関する意識を各医師会間で共有するために開かれる協議会で市来常任理事の出席が承認された。
5. 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項について

この協議会で取り上げてほしい日医への質問・要望事項があれば，事務局を經由して会長に提出し，取扱いについては会長一任とすることが承認された。

6. 9/29(木) (JA-AZM) 九州厚生局及び宮崎県による集团的個別指導の実施に係る立会いについて

61医療機関を対象に行われる集团的個別指導で，石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 8月末日現在の会員数について
2. 9/2(金) 日医年金委員会について
3. 9/2(金) (県医) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
4. 9/3(土) (県医) 県医師会医学会について
5. 9/5(月) (県医) 日本医学会総会第3回地域別会合について
6. 8/31(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

医師連盟関係
(議決事項)

1. 9/30(金) (宮観ホテル) 三師会懇談会の開催について

河野委員長他6名の参加と，提出議題があれば事務局を經由して委員長に提出し，取扱いについては委員長一任とすることが承認された。

(報告事項)

1. 9/3(土) (JA-AZM) 県選出国會議員と県経済団体協議会との協議について

令和4年9月13日(火) 第7回全理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ①地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会の委員の推薦について
 - 地方公務員に対する災害補償の審査会で，任期満了に伴う推薦依頼があり，引き続き河原理事が就任することが承認された。

認された。

- ②公務災害補償等認定委員会及び公務災害補償等審査会の委員の推薦について
→県議会議員を含む非常勤職員に対する災害補償を審議する委員会等で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き認定委員会の委員に河原理事、審査会の委員に河野会長を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①12/3(土) コンサートとシンポジウム～身近な人の困難に寄り添える社会に～への名義後援のお願いについて
→ジャズカルテットコンサートやヤングケアラーとして難病の妹を支えた方の講演、難病の子どもと家族を支えるケアをテーマとしたシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。
- ②12/4(日) 第27回宮崎県理学療法学会の後援について
→「コロナ禍の理学療法 実際の現場を通して」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。
- ③11/12(土) 令和4年度「いいお産の日in都城」の名義後援について
→「みんなの笑顔はサステナブル」をテーマに開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。
- ④R5.1/29(日) 九州・沖縄地区合同研修会后援名義使用のお願い
→本会会員や医業経営コンサルタント会員を対象に「地域包括医療における連携の在り方」等の講演が行われる研修会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 業務委託について

- ①令和4年度新型コロナウイルス感染症対策事業における業務委託契約について
→新型コロナウイルス感染症や同ワクチンに関する情報を医療機関に対し速やかに提供すること等を目的とする事業で、契約を締結することが承認された。

- ②令和4年度インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について
→県内の高齢者が居住市町村以外でインフルエンザ定期予防接種を受けることを可能にする契約で、県内各市町村と締結することが承認された。

4. 令和4年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方に対する表彰の推薦依頼があり、継続審議となった。

5. 臨床研修医を対象に実施している会費減免期間の延長について

日医が、若手医師の入会を促進し医師会の組織率を強化するために現在臨床研修医を対象に実施している会費減免期間卒業後2年間を同5年間に延長することになり、本会も同様に延長する方針が承認された。

6. 県医師会館大規模修繕工事開始について

県医師会館大規模修繕工事について、現段階での大まかなスケジュール等が説明された。工事内容は防水工事や外壁タイル工事などで、工事期間は9月中旬から2月初旬まで、工事時間は8時から17時まで、土曜、日曜、祝日は原則工事を行わない。

7. 9/27(火) (県医) 各都市医師会長協議会について

当日の会議の流れと役割分担などについて確認を行った。

8. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、大塚常任理事に未来医師会ビジョン委員会への委嘱の依頼があり、承認をした。

9. 第122回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)について

九医連担当の大分県医師会より、11月26日に開催される総会で採択する宣言と決議の案が示され、意見などがあれば事務局に届け出、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

10. 母体保護法指定医の指定申請について

新規指定2名の申請を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

11. 令和4年度都道府県災害医療コーディネーター研修受講者の推薦について

都道府県における災害医療コーディネーターの活動に必要な統括・調整体制の知識の獲得及び当該体制の標準化を目的とする研修で、各郡市医師会に参加者の確認をすることが承認された。

12. 医師年金のアンケート（認知度調査）実施に関する周知について

今後の医師年金の普及推進策の検討のためのアンケートで、周知に協力することが承認された。

13. その他

①宮崎県医師会育児・介護休業等に関する規則の改正について

→育児・介護休業法の改正により10月1日から義務化される事項に対応するため、育児・介護休業等に関する規則を理事会の承認を経て改正し対応することが承認された。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 9/8(木)（県医）都道府県医師会社会保険・情報システム担当理事連絡協議会について

3. 9/8(木)（県医）県糖尿病対策推進会議小幹事会について

4. 9/8(木)（県医）県慢性腎臓病対策推進会議（Mz-CKDI）代表者会議について

5. 9/6(火)（県医）母体保護法指定医師審査委員会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 10/1(土)（ニューウェルシティ宮崎）支部長会の開催について

九州医師会連合会の会議と重なるため欠席をすることが承認された。

2. 11/19(土)（シーガイア）衆議院議員「武井俊輔政経セミナー2022」のご案内
協力をすることが承認された。

（報告事項）

1. 9/11(日)（KITEN）河野しゅんじ後援会会長会議について

令和4年9月27日(火) 第8回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 令和4年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について（再協議）

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方に対する表彰で、3名を推薦することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県保険者協議会委員の推薦について
健康づくりに関する問題意識の共有や、医療計画及び医療費適正化計画等に関する意見を検討する協議会で、委員については地域医療担当理事で調整の上推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①10/23(日) 一般社団法人RIPPLE（リップル）設立記念シンポジウム名義後援のお願い

→医療的ケアが必要な重度障がい児・障がい者とその家族への支援を目的にした団体が開催するシンポジウムで名義後援をすることが承認された。

4. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、有床診療所委員会に河野会長、医師会共同利用施設検討委員会に市来常任理事、医療経営検討委員会に吉田常任理事への委嘱の依頼があり、承認された。

5. 連載「みやざき医療・健康講座(仮)」への寄稿について

宮崎日日新聞から、令和5年1月から月に2回、宮崎の医療に関心を持ってもらう

記事や健康増進に寄与する記事の寄稿依頼があり、協力をすることが承認された。

6. 業務委託について

①令和4年度外国人患者受入れ環境整備推進セミナー事業業務の委託契約について
→外国人患者の受入体制整備に必要な知識を学ぶためのセミナーを開催する事業で、契約を締結することが承認された。

7. 12/8(土) (県医) 令和4年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

金丸常任理事の出席が承認された。

8. 令和5年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業提案及び意向調査結果について

基金を活用した事業提案と病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業の意向調査について、各郡市医師会等を通じて照会した結果、事業提案1件、意向調査2件の回答があり、すべて県に提出することが承認された。

9. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼があり、審査委員会委員の選任基準(本会内規)に従い、今後、県医師会及び郡市医師会並びに各専門分科医会に人選を依頼していくことが承認された。

10. 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、山村副会長を立会人として派遣するこ

とが承認された。

11. 令和4年度宮崎県総合防災訓練に係る多数死体検視等訓練への派遣依頼について

11月6日に日南市で行われる多数死体検視等訓練について、訓練への参加及び警察職員への指導を行う医師の派遣依頼があり、県警察医会に選任を依頼することが承認された。

12. 10・11月の行事予定について(報告事項)

1. 週間報告について
2. 9/14(水)(支払基金)支払基金支部運営委員会について
3. 9/20(火)(県医)日医理事会他について
4. 9/20(火)(県医)都道府県医師会長会議について
5. 9/17(土)(県医)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・定例総会・運営委員会について
6. 9/20(火)(県防災庁舎)県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
7. 9/14(水)・9/21(水)(県医)広報委員会について
8. 9/25(日)(県医)人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会について
9. 9/26(月)(県医)園医部会総会・研修会について
10. 9/15(木)(県医)医学会誌編集委員会について
11. 9/27(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
12. 9/24(土)(県医)産業医研修会(前期)について

あなたできますか?(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	d	c	b	d	a	d	c	c	b, e

県 医 の 動 き

(10月)

1	県警察医会総会・特別講演会 (Web会議) (大分) 九医連常任委員会 (会長) (大分) 九医連各種協議会 (山村副会長他) (長崎) 九州医師協同組合連合会通常総会 (小牧副理事長) (長崎) 九州医師協同組合連合会理事会 (小牧副理事長)	19	労災診療費算定実務研修会 (Web会議) 支払基金審査運営協議会 (会長) 都道府県医師会医師会組織強化担当役員連絡協議会 (Web会議) (市来常任理事)
3	県がん対策審議会 (会長) 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会 (Web会議) (金丸常任理事) 県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web会議) (高木常任理事)	20	県地域医療構想調整会議 (会長他) 県内科医会学術委員会 (Web会議) (玉置理事)
4	第12回常任理事協議会 (会長他)	22	河野しゅんじ後援会事務所開き (河野委員長) 河野しゅんじ選挙対策本部会議 (河野委員長) 病院部会・医療法人部会合同研修会 (Web会議) (会長他)
6	(日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 男女共同参画委員会 (荒木常任理事他)	23	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
8	産業医研修会 (実地) (吉村理事)	24	G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会設立総会 (会長) 全国国保組合協会理事会 (Web会議) (秦理事長) 全国国保組合被保険者全国大会実行運動本部委員会 (Web会議) (秦理事長) 広報委員会 (荒木常任理事他) 医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (Web会議) (石川常任理事)
9	日本小児科医会生涯研修セミナー in 宮崎 (高木常任理事) 宮崎から医師をめざそう! 応援フォーラム (荒木常任理事他) 第48回JCOA研修会 in 宮崎 (会長)	25	みやざき愛の献血運動推進県民大会 (小牧副会長) 医協理事会 (河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 第10回全理事協議会 (会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会 (会長他)
11	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) (山村副会長他) 第9回全理事協議会 (Web会議) (会長他)	26	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 (荒木常任理事) 労災診療指導委員会 (赤須常任理事他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 健康スポーツ医学委員会 (Web会議) (会長他)
12	日医定款・諸規程検討委員会 (Web会議) (小牧副会長) 第37回日本整形外科学会基礎学術集会晩餐会 (会長)	27	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 (上山理事) 医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議 医療勤務環境改善支援センター医療機関向け研修会 (Web会議) 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議) (会長他) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
13	日医勤務医委員会 (Web会議) (金丸常任理事) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他)	28	日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議 (高木常任理事) 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医療事故調査支援委員会合同会議 (会長他)
14	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸常任理事他)	30	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事)
15	ICLS指導者養成ワークショップ (愛知) 全国医師会勤務医部会連絡協議会 (嶋本常任理事他) オンライン資格確認カードリーダー説明会 (荒木常任理事)		
16	ACLS研修会		
17	広報委員会 (荒木常任理事他) 在宅医療研修会企画小委員会 (Web会議) (石川常任理事)		
18	日医監事会 (Web会議) (会長) 日医役員勉強会 (Web会議) (会長) 日医理事打合せ (Web会議) (会長) 日医理事会 (Web会議) (会長) 医協プロジェクトチーム協議会 (吉田副理事長他) 県との妊婦健診等に関する協議会 (嶋本常任理事他)		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和4年10月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 14人

1) 男性医師求職登録数 10人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	7	5	2
精神科	1	1	0
老健	1	0	1
検診	1	0	1

2) 女性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	3	0	3
検診	1	0	1

2. 斡旋成立件数 87人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和4年度	2	0	2
平成16年度から累計	63	24	87

3. 求人登録 83件 297人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	79	65	14	消化器外科	3	2	1
外科	24	20	4	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	23	7	健診	3	2	1
精神科	9	8	1	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	10	6	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	12	11	1	皮膚科	4	2	2
麻酔科	12	9	3	婦人科	2	2	0
眼科	9	7	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	9	8	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	2	2	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	7	5	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	5	5	0
救命救急科	9	9	0	合計	297	239	58

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230199	医) 社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都 城 市	糖内, 心内	2	常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三 股 町	精, 内	2	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外, 消内	2	常勤
190086	医) 早田病院	延 岡 市	消内, 循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦, 内, 小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内, 消外, 内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内, 小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌, 透	4	常勤・非常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延 岡 市	内, 外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延 岡 市	内, 整, リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日 向 市	外, 整	4	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内, 外, リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日 向 市	内, 循内	2	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内, 麻, 外, 眼, 健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内, 循内, 糖内, 神内, 小, 整	12	常勤・非常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内, 外, 整, 総診, 透	5	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西 都 市	内, 整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串 間 市	精, 内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内, 外, 整, 在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内, 外, 総診, 消内, 腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日 南 市	外, 内	5	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内, 皮	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急, 総診, 放, 麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小 林 市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整, 内, 脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整, 内, 麻	5	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小 林 市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内, 外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和4年10月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり(22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにくちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡
	③ 宮崎市柳丸町32 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階部分の約半分のスペース：213.68㎡ (64.75坪) (1階は老人ホームと併設, 2・3階は老人ホーム) ※駐車場あり(14台)	所有者：宮崎市郡医師会員 野辺医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoubank@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和4年10月25日

		11 月				
1	火	18:30 県警察本部と県医師会との意見交換会 19:00 第13回常任理事協議会		10:00 日医監事会 (Web会議) 11:00 日医役員勉強会 (Web会議) 13:00 日医理事打合会 (Web会議) 13:30 日医理事会 (Web会議) 15:00 都道府県医師会長会議 (Web会議) 15:00 県・市町村との妊婦健診等に関する協議会 (Web会議) 18:00 参議院議員自見はなこ政策セミナー (Web会議)		
2	水					
3	木	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会	15	火		
4	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議)				
5	土	12:00 全国有床診療所連絡協議会常任委員会 (Web会議)	16	水	13:30 日医医療経営検討委員会 (Web会議)	
		12:50 全国有床診療所連絡協議会役員会 (Web会議)	17	木	19:00 医協会計監査	
		14:00 全国有床診療所連絡協議会総会・講演会 (Web会議)	18	金	19:00 介護保険委員会	
		15:00 (福岡)九州学校検診協議会専門委員会 16:00 県整形外科医会研修会 16:30 (東京)全国医師協同組合連合会通常総会 17:00 (福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会	19	土	13:45 県プライマリ・ケア研究会 世話人会・総会・研修会 14:00 日医女性医師支援・ドクターバンク 連携九州ブロック会議 (Web会議)	↑ 国保審査 ↓
		9:00 (日南市)県総合防災訓練 9:00 全国有床診療所連絡協議会総会・講演会 (Web会議)	20	日	9:00 かかりつけ医等発達障がい 対応力向上研修 11:00 世界糖尿病デーin宮崎2022 県民公開講座	
18:00 県認知症疾患医療センター合同会議 (Web会議) 19:00 健康教育委員会 (Web会議)	21	月	17:00 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 19:00 広報委員会			
	22	火	18:30 第11回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会			
	23	水	(勤労感謝の日)			
9	水	14:00 (日医)日医有床診療所委員会 14:00 県訪問看護推進協議会	24	木		
10	木	15:00 県個人情報保護審議会 19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	25	金	16:00 (大分)九医連常任委員会 社 17:00 (大分)九医連臨時委員総会 保	
11	金	アイバンク公益法人定期立入検査 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	26	土	10:00 (大分)九医連委員・九州 各県役員合同協議会 審 13:00 (大分)九州医師会総会・医学会 査 17:20 宮崎大学医学部附属病院研 修ローテート等説明会	
12	土	9:00 (岩手)全国学校保健・学校医大会 15:00 九州各県内科医会連絡協議会他 (Web会議)	27	日	(大分)九医学分科会 13:30 アイバンクサポーター講習会 ↓	
		15:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議) 18:30 (都城市)都城看護専門学校創立70周年記念式典	28	月		
13	日	10:00 (福岡) e レジフェア (Web)	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) 終了後 第12回全理事協議会 (Web会議)	
14	月	19:00 広報委員会	30	水	13:30 宮大経営協議会 15:00 労災診療指導委員会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年10月25日

12		月					
1	木	19:00	県医中間監事監査				
2	金			14	水	16:00	支払基金審査運営協議会
						16:00	日医定款・諸規程検討委員会
						19:00	広報委員会
3	土	9:00	(都城市) 県産婦人科医会新生 児蘇生法講習会	15	木		
		14:30	産業医研修会 (TV会議)				
4	日	9:00	人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会	16	金	17:00	県地域医療対策協議会
						19:00	広報委員会
5	月			17	土	19:00	かかりつけ医認知症対応力 向上研修会 (Web会議)
6	火	14:00	県保険者協議会	18	日		
		19:00	第14回常任理事協議会				
7	水	15:30	(日医) 日医医療秘書認定試験 委員会	19	月	19:00	自殺対策うつ病研修会 (Web会議)
8	木	19:00	県産婦人科医会全理事会 (Web 会議)	20	火	10:00	日医監事会
						11:00	日医役員勉強会
						13:00	日医理事打合会
						14:00	日医理事会
9	金	14:00	日医医師会共同利用施設検討委 員会 (Web会議)	21	水		
		18:00	指導医のための教育ワークショ ップ打合せ会	22	木		
10	土	9:00	指導医のための教育ワークショ ップ	23	金	16:00	都道府県医師会新型コロナウイルス 感染症担当理事連絡協議会 (Web会議)
		13:00	指導医のための教育ワークショ ップ記念撮影			18:00	九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会
		15:00	県産婦人科医会性教育シンポジ ウム	24	土		
		19:00	宮大医学部附属病院救命救急セ ンター開所10周年記念祝賀会	25	日		
11	日	8:30	指導医のための教育ワークショップ	26	月		
12	月	15:30	日医公衆衛生委員会	27	火	19:00	第14回全理事協議会 (Web会議)
		19:00	生活習慣病検診従事者研修会 (肺 ・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議)	28	水	15:00	労災診療指導委員会
13	火		医協理事会 医協理事・運営委員合同協議会 第13回全理事協議会	29	木		(年末休業)
				30	金		(年末休業)
				31	土		(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月2日(水) 19:00~21:00 県医師会館	衛生委員会における次年度年間スケジュールの具体的な立て方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
ALL MIYAZAKI 総合診療オートム セミナー (Web講習会) 11月5日(土) 14:00~17:00 若草HUTTE&CO -BA MIYAZAKI ※受講は現地またはWeb	症例検討・ショートレクチャー 県立宮崎病院 総合診療科 早川 学 他	73 (0.5) 81 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809
令和4年度宮崎県整形 外科医会研修会 11月5日(土) 16:00~18:00 県医師会館	令和4年度全国整形外科保険審査委員会議報告について 県国民健康保険診療報酬審査委員 税所 幸一郎 県社会保険診療報酬支払基金審査委員 福嶋 秀一郎	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 旭化成ファーマ(株)
	骨粗鬆症診療の深化を目指す医療連携 宮崎大学医学部 医療人育成推進センター 講師 船元 太郎	77 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第199回宮崎県眼科 医会講習会 11月5日(土) 16:30~19:00 KITEN	糖尿病黄斑浮腫診療Update 京都大学 眼科 講師 村上 智昭	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)
	角膜疾患の謎 国際医療福祉大学成田病院 眼科 教授 白井 智彦	36 (1.0)	
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月6日(日) 14:00~15:30 宮日会館 ※受講は現地またはWeb	健康長寿のため 必須微量ミネラルの重要性を知ろう ~特に亜鉛を中心に~ 青木皮膚科 医師 出盛 允啓	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011 ◇後援 日本臨床皮膚科医会 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
第81回都城心臓血 管懇話会 (Web講習会) 11月7日(月) 19:00~20:10 都城ロイヤルホテル	不整脈医の視点での心不全治療 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 医長 綾部 健吾	31 (0.5)	◇主催 都城心臓血管懇話会 ◇共催 日本ライフライン(株) 第一三共(株) ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
33 (0.5)			
宮崎県医師会産業 医研修会 11月11日(金) 19:00~21:00 県医師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 田中 伸明 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		3 (0.5)	
		6 (0.5)	
		11 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<p>都城市北諸県郡医師会・都城地区整形外科医会合同学術講演会 (Web講習会) 11月11日(金) 19:00~20:10 都城ロイヤルホテル ※受講は現地またはWeb</p>	<p>関節リウマチにおける診療連携のタイミング 国立病院機構都城医療センター 整形外科・リウマチ科 リウマチセンター長</p> <p style="text-align: right;">濱田 浩朗</p>	<p>12 (0.5) 61 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 都城地区整形外科医会 エーザイ(株)</p>
<p>西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会(Web講習会) 11月14日(月) 19:00~20:00 ガーデンベルズ小林 ※受講は現地またはWeb</p>	<p>腎性貧血治療の変遷と老人(腎)性貧血 滋慶医療科学大学 客員教授</p> <p style="text-align: right;">椿原 美治</p>	<p>15 (1.0)</p>	<p>◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 協和キリン(株)</p>
<p>宮崎県医師会産業医研修会 11月15日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福祉センター</p>	<p>衛生委員会における次年度年間スケジュールの具体的な立て方 産業保健相談員 串間市民病院 院長</p> <p style="text-align: right;">江藤 敏治</p> <p>生涯研修の専門研修：2単位</p>	<p>1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>
<p>宮崎県医師会産業医研修会 11月16日(水) 19:00~21:00 県医師会館</p>	<p>精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長</p> <p style="text-align: right;">中村 究</p> <p>生涯研修の専門研修：2単位</p>	<p>1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
年末木曜会特別講演会 (Web講習会) 11月17日(木) 19:00~20:00 KITEN ※受講はWebのみ	最新の十二指腸腫瘍の内視鏡診断 ~実際の治療に関して~ 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門 教授 矢作 直久	1 (1.0)	◇主催 木曜会 ◇共催 ※オリンパスマーケティング㈱ ☎099-224-7820
宮崎県医師会産業医研修会 11月18日(金) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修: 2単位	4 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第237回宮崎県泌尿器科医会 11月23日(水) 18:00~19:25 宮崎観光ホテル	間質性膀胱炎の診断と治療 潤和会記念病院 泌尿器科 部長 月野 浩昌	65 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 杏林製薬㈱
	男性医学の最前線 順天堂大学医学研究科 泌尿器外科学 教授 堀江 重郎	0 (0.5)	
第14回はまゆう整形外科セミナー 11月26日(土) 17:40~18:40 宮崎観光ホテル	痙縮に対する整形外科的アプローチ 宮崎県立こども療育センター センター長 川野 彰裕 他	72 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
西都市西児湯内科 医学会学術講演会 (Web講習会) 11月28日(月) 19:00~20:00 西都市西児湯医師 会館 ※受講は現地また はWeb	エビデンスに基づいた不眠症治療薬の切り替え方法 ～レンボレキサントが果たす意義～ 久留米大学 神経精神医学講座 教授 小曾根 基裕	69 (1.0)	◇主催 西都市西児湯内科医学会 ◇共催 エーザイ(株) (連絡先) 西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 11月30日(水) 19:00~20:00 南那珂医師会館 ※受講は現地また はWeb	味覚障害のキーポイント ～亜鉛と全身疾患・高齢者への対応～ 産業医科大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 産業医臨床研修等指導教員 准教授 柴田 美雅	73 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 ノーベルファーマ(株)
宮崎県内科医学会学 術講演会 (Web講習会) 11月30日(水) 19:00~20:15 エンシティホテル 延岡 ※受講はWebのみ	今さら聞けない輸液のキホン ～脱水症に対する輸液の考え方～ (株)大塚製薬工場 学術部 梅田 直樹	51 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医学会 ◇共催 延岡内科医学会 ※(株)大塚製薬工場 ☎0985-24-2272
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 12月1日(木) 19:00~20:30 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地また はWeb	貧血診療のピットフォール 大分県立病院 血液内科 部長 大塚 英一	19 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ブリストル・マイヤーズスクイブ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	IMiDsを用いた治療：百花撩乱の光景 ～腫瘍免疫の矛と盾～ 関西医科大学 内科学第一講座 主任教授 伊藤 量基	1 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県内科医会学 術講演会 (Web講習会) 12月1日(木) 19:00~20:00 MRTmicc ※受講は現地また はWeb	高齢保存期CKD患者の身体・認知機能を考える 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 主任教授 柴垣 有吾	73 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801
宮崎県医師会東洋 医会学術講演会 (受講は現地また はWeb) 12月3日(土) 17:30~19:00 KITEN ※受講は現地また はWeb	冷えの漢方治療~common diseaseに活かす~ 飯塚病院東洋医学センター 漢方診療科 診療部長 吉永 亮	83 (1.5)	◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
宮崎県医師会産業 医研修会 12月5日(月) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 田中 伸明 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月7日(水) 19:00~21:00 県医師会館	産業医が知っておきたい難病支援と企業における障害 者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月15日(木) 19:00~21:00 県医師会館	労働環境におけるPTSD様症状 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 船橋 英樹 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 5 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月20日(火) 19:00~20:00 串間市総合保健福 祉センター	産業医が知っておきたい難病支援と企業における障害 者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月13日(金) 14:00~16:00 県医師会館	石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会(専門研修) 「石綿関連疾患胸部画像診断の読影実習」 長崎大学大学院 医師薬学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授 芦澤 和人 生涯研修の実地研修：2単位	9 (0.5) 45 (0.5) 他 46 (0.5) 79 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月24日(火) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	この一年間(令和4年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



当科におけるロボット支援手術の導入

宮崎県立宮崎病院 外科 呼吸器グループ ^{べつ} ^ぶ ^{きいちろう} 別 府 樹 一 郎

呼吸器外科領域におけるロボット支援手術の保険診療は現在のところ肺悪性腫瘍（肺葉切除または1肺葉を超えるもの）、良性または悪性縦隔腫瘍に対して承認され、2018年4月より保険診療開始となりました。以降本邦における呼吸器外科ロボット支援手術の件数は加速度的に増加し、現在では年間5,000例を越え今後も更に増加すると予想されます。当院では2022年1月の新病院移転に合わせDa Vinci Xi (Intuitive Surgical社)を導入し、2022年3月より泌尿科、婦人科、6月より呼吸器外科が順次ロボット支援手術をスタートさせました。

ロボット支援手術は基本的に①ペイシェントカート（PC：内視鏡カメラと3本の鉗子用の4アームで構成）、②サージョンコンソール（SC：術者の操作卓）、③ビジョンカート（VC：画像処理装置）から構成され、当科では図1のように各器材と人員を配置しています。PCが患者へ設置（ロールイン）された後、コンソール医師（術者）は患者から離れた位置にあるSCに座り、眼前の3Dモニターを見ながら手元のマスターコントローラを用いて遠隔操作で手術を行います。一方、助手は術野において助手用ポートからの視野展開、鉗子の取り換え、アームの位置調整などの清潔操作を担当します。ロボット支援手術の特長として、3次元モニターを用いた拡大視、鉗子の多関節機能や手ぶれ補正機能による精緻な操作性などが挙げられ、従来の胸腔鏡手術に比べてより正確で安全な手

術が可能となります。

日本呼吸器外科学会ガイドラインが定めるロボット支援手術の術者資格は、原則として呼吸器外科専門医とされ、最近一定の条件を満たせば外科専門医でも可と追認されました。術者は①オンライントレーニング（Eラーニング）、②オンサイトトレーニング（実機を用いたドライトレーニング）、③施設見学、④ウェットロボットトレーニング（Intuitive社東京トレーニングセンター）を経て修了証書を取得したうえで初症例に臨むことができます。助手も①～③の受講ならびに資格取得が必要で、④は必須ではありませんが術者とペアでの受講が望ましいとされています。また、チームメンバーとなる臨床工学士や看護師の基礎トレーニングや施設見学も必要とされ、術式ごとに施設の倫理委員会の承認が義務付けられています。更に初症例においては学会が承認した指導医（プロクター）を招聘し、その直接指導の下に実施するよう安全性に配慮したシステムが構築されています。新規技術であるロボット支援手術にはまだ不確実性あるいは未知のpitfallが内包されているため、安全に関するチーム内での情報共有は非常に重要と考えられますので、当科では手術前日の体位確認やスタッフ間でのブリーフィングを初症例から毎症例継続して行い、より円滑かつ安全な手術運営に配慮しています。

腹部手術とは異なり呼吸器外科領域では肋骨の存在や胸郭サイズの個体差、側臥位での骨盤

の張り出し（特に女性）など胸部外科特有の問題からポート配置は患者間あるいは施設間でバリエーションがあり、患者ごとの工夫が必要となります。当院では現在のところ第8肋間を中心に4個のロボット用ポートを配置し（ポート間距離は6～8cm）、更に助手用ポートを2個追加して尾側から頭側を見上げるアプローチ法を採用しています（図2）。左右アームのインストゥルメントの選択も施設間で異なります。当科では基本的に左手に把持・凝固用のフェネストレイテッドバイポーラ、右手に切開・凝固用のメリーランドバイポーラを使用し、なるべくドライな術野を保ちながら肺動静脈や気管支周囲剥離を行い、主にDa VinciステープラーであるSureFormを用いて切離しています。また、リンパ節郭清時には乳び胸予防のためベッセルシーラーを併用しています。

ロボット手術手技における最大の弱点は「触覚の欠如」ですが、それを補うべくblind sideの直接的または間接的認知の工夫が要求されます。また、視野外でのアームによる臓器損傷も触覚欠如が関与しますので、胸部手術特有である心臓や大血管等の重要臓器の位置把握や胸壁との接触確認など、遠景・近景のこまめなカメ

ラワークを用いた術野全体の把握がポイントとなります。また、大出血時の緊急対応も重要で、当科では緊急対応時の各チームスタッフの経時的役割をマニュアル化し、毎回ロールアウト時にチームシミュレーションを行うことで緊急時に備えています。その他、手術室滞在時間、ポート配置、術後疼痛等まだまだ課題がありますので、一例一例検証・改善・工夫を重ね、いずれは従来の胸腔鏡手術を凌駕する術式に発展させていきたいと考えております。

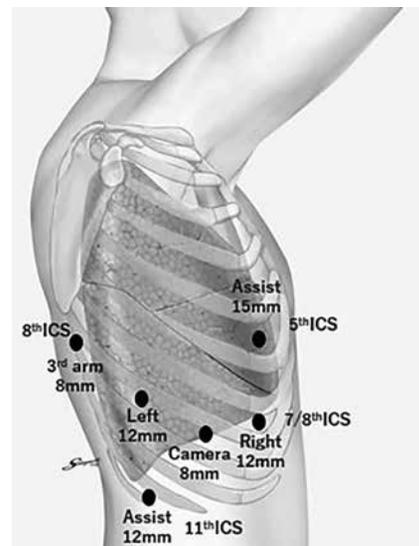


図2. 当科における右肺癌手術時の基本ポート配置

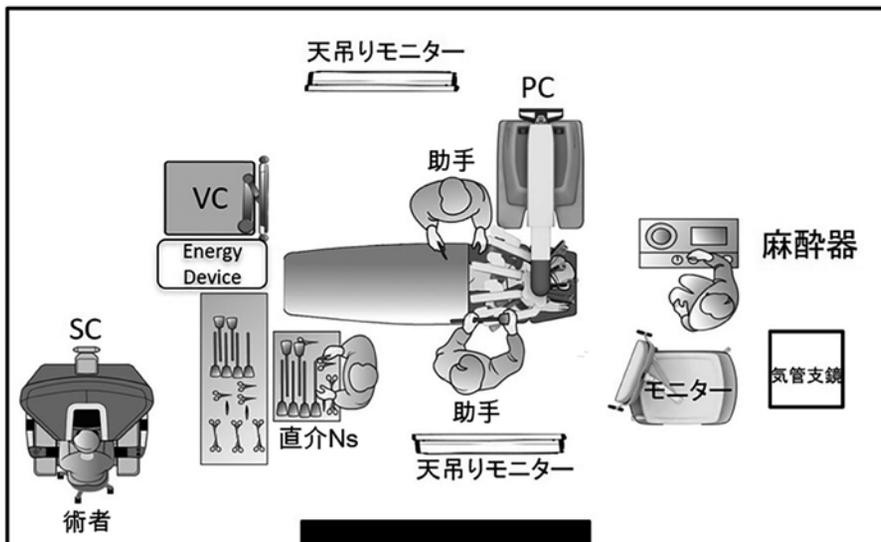


図1. 当科における右肺癌手術時の機材・人員配置

宮大医学部学生のページ



宮崎大学学園祭 第18回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長 医学科4年 ^{むら}村 ^{こそ}社 ^{ゆう}優 ^{すけ}介

日時：令和4年11月19日(土)、20日(日)

会場：宮崎大学木花キャンパス

宮崎大学清武キャンパス

今年は上記のとおり学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。新型コロナウイルス感染症が社会現象となり3年の月日が経とうとしています。社会では少しずつその向き合い方が変化し、コロナ禍以前の日常に近づいているように思われます。宮崎大学でも、地域のお客さんを交えた企画を通して、地域に再び活気を取り戻せるような学園祭にしたいと考えております。

清武キャンパスにおける「清花祭」の前身である、宮崎医科大学時代から続く「すずかけ祭」の伝統を受け継ぎつつ、独自の企画など創意工夫を凝らした学園祭を用意してまいります。ぜひ会場まで足を運んでいただけたら幸いです。

清武キャンパスの学園祭では、日頃私たちが学んでいる医学や看護学の知識を地域の方々と共有させていただく企画「医学展」というものがあります。以下ではその一部をご紹介します。

*新型コロナウイルス感染症の感染状況により内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

清武キャンパス医学展

〈気持ち企画〉

患者さんや医療従事者の気持ちを本という1つの形にして配布します。患者さんや医療従事

者の気持ちにスポットライトを当てることで、お互いの『伝えたかったのは伝えられなかった思い』に近づく機会となれば幸いです。

〈なってみよう企画〉

主に児童、学生を対象とした医師体験や看護師体験、その他の医療にまつわるさまざまな体験を楽しむことができます。折り紙やバルーンなど、小さなお子様も楽しめる雰囲気のお部屋となっていますので、ぜひお立ち寄りください。

〈解剖・病理企画〉

この企画は、身体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型に加え、子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。医学や人体の面白さに触れていただければ幸いです。

〈アロマ企画〉

『人の心を癒す優しさ』を伝える療法として医療現場に取り入れられつつあるメディカルアロマセラピーについての展示と、実際にアロマオイルを使ったハンドマッサージ、そしてハーブティーとお菓子の提供を通して“人を癒す”ことを考えるという企画です。日常とは違う癒しの空間を、ぜひご堪能ください。

〈年齢企画〉

脳、肌、血管、体力といった体の状態を『年齢』という数字を通して測定する企画です。ぜひご来場いただき、自身の健康に関心を持っていただければ幸いです。

清武キャンパスイベントスケジュール

イベント名	時 間	内 容
11月19日(土)		
軽音 (屋外イベントステージ)	10:00~10:30	軽音楽部員によるバンドの演奏です。
ミスキャン (屋外イベントステージ)	10:30~12:00	宮崎大学清武キャンパスのNO.1を決めるコンテストです。
DOC. (ダンスサークル) (屋外イベントステージ)	12:00~13:00	医学部ダンスサークルによるパフォーマンスです。
アカペラ (体育館)	13:00~13:30	アカペラ部員が調和のとれた美しい歌声を披露します。
篠懸太鼓 (体育館)	14:30~15:15	勇壮で力強く、心震える太鼓の演奏です。
KIZUNA企画 (屋外イベントステージ)	15:00~16:30	学生がチームとなってゲームに取り組み、絆を深めてもらう企画です。

11月20日(日)		
コンテスト (屋外イベントステージ)	10:00~11:30	清武キャンパスで最も美しく勇ましい男の子を決定するコンテストです。
子ども企画 (体育館)	11:30~13:00	地域の子どもたちを招待してミニ運動会を行います。
管打楽器 (屋外イベントステージ)	11:30~12:00	管打楽器部による心に響く演奏です。
軽音 (屋外イベントステージ)	12:00~12:30	軽音楽部員によるバンドの演奏です。
クイズ企画 (屋外イベントステージ)	13:00~14:30	宮崎大学の誇る教員がクイズ対決を行います。
ラブプロ企画 (屋外イベントステージ)	14:30~16:00	学生がゲームに取り組み、男女の愛を育む企画です。

*雨天の場合、屋外ステージで行う予定のイベントは体育館で行います。

*屋外イベントステージは中庭で行う予定ですが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更になる場合がございます。ご了承ください。

*イベントステージ周辺では模擬店が開かれます。模擬店の営業時間は9:00~16:00になっております。ぜひお越しください。

*清花祭の詳しい情報は、ホームページ『<https://miyaigakusai.wixsite.com/kiyokasai>』, Twitter『宮崎大学医学部 学祭』, Instagram『宮崎大学医学部 学祭』で検索してください。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・武田社ワクチン（ノバボックス）の配分等について（その6） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（その3） ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正） ・新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株PCR検査について ・へき地以外の新型コロナウイルスワクチン接種会場への看護師・准看護師の労働者派遣について（期間延長） ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その76） ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その77） ・第34回（令和4年度）健康スポーツ医学講習会の開催について ・「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表“各地域における指導救命士制度の充実に向けた取組事例”」の募集について ・令和4年度死亡時画像診断（Ai）研修会の開催について（ご案内） ・信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長について（情報提供） ・医療安全推進週間（11月20日～11月26日）について ・「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について ・令和4年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について（通知） ・令和4年台風第14号による被害に係る災害復旧資金について ・「交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム」の開催について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その28）」の送付について ・「看護職員処遇改善評価料の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その2）」の送付について
9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年台風第14号に伴う災害に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和4年台風第15号に伴う要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和4年台風第15号による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「エバシエルド筋注セット」取扱いに係るエバシエルド登録センター登録済み医療機関の公表について（周知） ・高齢者施設等における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル及びパキロピッドパック）の活用方法について（改定） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル）の適正使用について ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正） ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施に当たっての取扱いについて ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法令施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知） ・世界メンタルヘルスデー2022について ・エボラ出血熱に係る注意喚起について ・健康経営優良法人2023の申請受付について

送付日	文 書 名
9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（キイトルーダ点滴静注100mg）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて
10月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・リンヴォック錠30mg等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・「診療報酬請求書等の記載要領等について」等の一部改正について
10月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の事業の継続及び病床確保料の取扱いの変更について（通知） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正） ・独立行政法人福祉医療機構による新型コロナウイルス対応支援資金の令和4年10月以降の融資条件について（情報提供） ・ファイザー社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.4/5）の2価ワクチン）の配送等について ・モデルナ社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.1）の2価ワクチン）の配送等について（その3） ・乳幼児（6か月から4歳）の新型コロナワクチンの接種に使用するファイザー社ワクチンの配分等について ・健康フォローアップセンターに登録された者の報告について（再周知） ・「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver8.0」について ・「高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策の対象拡大及び期間延長について（その3）」について ・令和4年度最低賃金額の改定に関する周知・広報への協力依頼及び令和4年度業務改善助成金の拡充について ・防災推進国民大会2022の開催について ・「身元引受人がないウクライナ避難民に係る介護保険における保険料及び利用者負担の財政支援の延長について」の送付について ・後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う配慮措置に係る事務処理等（1円単位での負担額徴収）について ・後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて
10月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県「One Health」国際フォーラム2022+FAVA」の開催について ・ヤングケアラーの支援に向けた取組へのご協力について（依頼） ・「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱いについて ・認定医療法人制度に関するセミナーの開催について（情報提供） ・第31回日本医学会総会2023東京 登録推進について（お願い） ・オンライン請求医療機関に対する返戻再請求および保険者による再審査申出のオンライン化等について ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則及び臨床研究法施行規則の一部を改正する省令の施行について ・医療法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴う関係通知の改正について ・医療法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴う「関係学会等が作成するガイドライン」の周知について

送付日	文 書 名
10月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・「診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出及び挿入後の線源の取扱いについて」の改正について ・令和4年度団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業実施団体の三次公募について ・最適使用推進ガイドラインの取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（別紙及び質疑応答集の修正） ・「令和4年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内
10月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）に関するQ&A（第5版）について ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施に当たっての取扱いについて ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第8.1版」の周知について ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正） ・従来の新型コロナワクチンによる初回接種の早期実施について（周知） ・生後6か月以上4歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備について（その2） ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分について（別紙及び疑義応答集の修正） ・令和4年台風第15号に伴う災害に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和4年台風第15号に伴う災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて ・再編計画の認定制度に関する「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について（通知）」の一部改正等について ・医薬品副作用被害救済制度等の周知・広報について（協力依頼） ・「福岡県“One Health”国際フォーラム2022+FAVA」の開催について ・サル痘に関する情報提供及び協力依頼について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関するQ&A」の改定について（その3） ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第27回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 2021年 年報」の周知について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・「日本地域包括ケア学会第4回大会」の開催について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その29）」の送付について
10月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度環境省受託事業「電子マニフェスト導入実務説明会（Web説明会）」の開催について（周知依頼） ・オンライン資格確認導入に関する社会保険診療報酬支払基金からのリーフレットの送付について
10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）に関するQ&Aについて（通知） ・オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について（その5） ・小児（5歳から11歳）の新型コロナワクチンの接種に使用するファイザー社ワクチンの配分等について ・ファイザー社及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて（通知） ・新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時期流行に備えた発熱外来診療体制のさらなる強化について

送付日	文 書 名
10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院の調査について ・電子処方箋に関するオンライン説明会の実施等について ・訪日外国人受入の再開を踏まえた外国人患者受入れに関する体制の整備等について（周知・協力依頼）並びに訪日外国人受診者の医療費不払いに対する予防策について（周知・協力依頼） ・看護師等養成所における単位の計算方法について（歯科衛生士学校養成所指定規則等の一部を改正する省令の施行について（通知））
10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状マネジメント（第2.0版）」の周知について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（11版） ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分について（別紙及び疑義応答集の修正） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について（通知） ・予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について（通知） ・マスクの着用に関するリーフレットについて（更なる周知のお願い） ・第31回日本医学会総会 登録推進活動のお願い（早期事前参加登録）について ・サル痘対応に関する医療機関向け臨時セミナーの開催について ・第122回九州医師会医学会ホームページ開設について（ご案内） ・検査料の点数の取扱いについて ・医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について（特定機能病院におけるG-MISを用いた業務報告）
10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイザー社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.4/5）の2価ワクチン）の配送等について（その2） ・モデルナ社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.1）の2価ワクチン）の配送等について（その4） ・季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対する外来医療体制等の整備について ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について ・乳幼児（6か月から4歳）の新型コロナワクチン接種の体制整備に係る医療用物資の配布について ・厚生労働省委託事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査」に関する応募について ・「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」成果発表シンポジウム2022」の開催について ・令和4年度 死体検案研修会（上級）の開催について ・介護現場における文書負担軽減等に向けた取組の周知について ・令和4年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示について（1回目） ・診療用放射線に係る通知3点について ・「使用上の注意」の改訂について
10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の有効期間の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の介護老人保健施設等での円滑な投与について（通知） ・介護サービス事業所等及び障害福祉サービス事業所等における車両による送迎に当たっての安全管理の徹底について ・申請書等の様式変更及び新様式の使用に係る周知について（協力依頼）

あとかき



19の基本領域専門医を養成する臓器別専門医制度が2018年4月より新たに発足し、19番目の専門領域として「総合診療科」が設立されました。宮崎県にもこの総合診療医を育成するための研修プログラムである“All Miyazaki 総合診療プログラム”があり、現在も専攻医の先生方が各教育施設で研鑽されています。毎年数名がこの専門医の資格を取得し総合診療医として活

躍していますが、専門医取得後にご実家のクリニックでの勤務や、地域の基幹病院での勤務、また在宅専門クリニックで勤務など、その活躍の場は多岐に渡っています。

医療の世界において総合診療医という言葉は徐々に浸透してきている印象ですが、どのような知識・技術を身に付け、どのような役割を果たしているのかに関しては、まだまだ社会での認知度は低いように思います。All Miyazaki 総合診療プログラムでは、在宅医療～クリニックでの医療に携わるいわゆるプライマリ・ケアを担う側面に加え、中規模病院～総合病院での急性期治療・集中治療に携わるいわゆる病院総合診療を担う能力も兼ね備えた医師を育成しており、高齢化が更に加速していく日本において、多疾患が並存している患者を社会的な問題も含めて統括的にマネジメントできるこの総合診療医が、今後更にその活躍の場を広げていくものと思います。

総合診療に興味を持つ人が増え、一人でも多くの総合診療医が誕生することを願っています。 (早川)

トップガン・マーヴェリックを観ました。内容はコテコテのトム様ものといいますが、強引ででき過ぎなところも多々ありますが、トムクルーズカッコいい!! USA最高!! と叫びたくなる、これぞハリウッド映画という痛快な作品でした(プーチンさんやキムさんがみたら激怒しそうですが)。トップガンの1作目は30年以上前、自分が学生のころでした。当時映画館やVHS(懐かしい!)で繰り返し観て、テーマソング「Danger zone」を聴きながら、興奮してチャリをかつとばしていた思い出があります。11月にDVDが出ます。中高年の皆様、ぜひ大画面で鑑賞することをお勧めします。 (稲倉)

ペランダ菜園を細々と続けています。最近ではキュウリが実をつけましたが、普通サイズが2本と半分サイズが1本、味はまあまあといったところで普通に食べることができたのでそれなりに満足。先日ホームセンターに行ったときに玉ねぎの球根を売っていたので早速購入。説明書どおりに育てば11月の中旬以降に収穫できる予定ですが、実は土の中なので無事に育っているかどうかはそのときになるまで分からないので祈るばかりです。 (高橋)

燃える闘魂アントニオ猪木さんが旅立たれました。猪木さんは29歳で新日本プロレスを旗揚げし、40歳でIWGP設立、多くの名勝負を繰り広げ、55歳でプロレス引退、その後は政界で活躍されました。私は52歳、人生の輝いている時間は、まさに今なのだと思わせてもらいました。幸せは「なるもの」ではなく「気づくもの」と言います。今の幸せに気づき、日々感謝の気持ちをもって、思いっきり生きていきたいと思えます。 (石田)

今年の秋は、気になるテレビドラマがたくさんあります。医療系も多く、小児のICUや若年発症型両側性感音難聴にフォーカスしたドラマも始まっています。中でも注目しているのは、研修医が各診療科を回って奮闘する姿を描いたものです。実際の医療現場とは少し違うシーンもあるような気がしますが、そんなことを考えながら見ている自分に成長を感じています。アプリだと見逃し配信もやっているの、ぜひ見てみてください。 (安藤)

実習前OSCEやCBTなどの大きな試験が無事終わり、現在は秋休みに入っています。ゆっくりできるかなと思っていましたが、11月の学祭の準備や部活動の和太鼓の練習などに追われています。学祭が終わると11月末からはよいよ実習ということで、楽しみなところもありますが上手くやれるか不安な気持ちも強いです。実習に入ると忙しくなり中々ゆっくりもしてもらえないと思うので、ひとまず今は羽を伸ばしつつ試験で傷ついた心と身体を癒やして実習に備えたいです。 (鍛冶川)

8月中旬、不覚にもコロナに罹患した。4回目ワクチン接種後3週目のことである。軽度の咽頭痛のみで、院長室隔離10日間による精神的苦痛と診療所ゆえ経営的苦痛を味わった。しかし、ワクチン接種による軽症化を身をもって感じた次第である。今は小児におけるコロナワクチンの重要性を、この経験をもとにご両親に説明している。 (高木)

今月のトピックス

会長のページ 九州厚生局および宮崎県による指導の通知を受けて

会長のページでは厚生局による指導の通知を受けた話です。スタッフ採用については履歴や短時間の面接では図り切れない部分が大ですが、やはり指導への対策としては、日頃からのルールに沿った診療やしっかりしたカルテの記載につきるということですね。 3 ページ

日州医談 警察からの照会への対応について

荒木常任理事より「警察からの照会への対応について」の説明です。日頃なんとなく受けている照会も、個人情報保護法の問題が深く関わっているのですね。今後は個人情報保護法に気を付けながら、適切に対応していきたいと思います。 4 ページ

私が推薦する本 「五足の靴」「高齢者てんかん」のすべて」「台所太平記」「海のアトリエ」

前田嘉子先生より推薦する本を紹介いただいております。浅学な私は谷崎潤一郎の作品を読んだことがありませんでしたが、「台所太平記」は映画化やたびたびドラマ化もされている作品の様です。今回、kindleで298円で購入、拝読いたしました。女中さん方のいろいろな癖がおもしろいですね。今ではいろんなコンプライアンスで書けない貴重な作品と思います。 6 ページ

宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭 第18回清花祭

「宮大医学部学生のページ」では村社優介さんの第18回清花祭の紹介です。今年は親戚の子が入学していますし、ダンスパフォーマンスや太鼓など見てみたいですね。 58 ページ

日 州 医 事 第879号(令和4年11月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也, 安藤菜々子, 鍛冶川雄登, 山本 樹

担 当 副 会 長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学 術 広 報 課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)